

中級

アイヌ語

十勝



財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

このテキストについて

当財団では、2010年度にアイヌ語千歳方言、美幌方言、幌別方言の教科書を作成しました。2011年度は、前年度に作成された教科書を踏襲しつつ改良を加え、静内方言、釧路・白糠方言、十勝方言の教科書を新たに作成しました。

編集方針

このテキストは、アイヌ語の初歩を学んだ人が、文法的に少し踏み込んだ内容を学ぶための教科書として作成しました。ただし、この本から学習を始めたとしても問題の無いように、なるべく平易な説明をこころがけました。

文法の学習にくわえ、伝統的な言葉あそびや、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載しています。副教材としてカルタも添え、さまざまな角度から、楽しみながら言葉を身につけられるようにしています。

アイヌ語にはさまざまな方言があり、生活習慣も地域によって多少異なります。そうした他地域の言葉・文化に関心を持ち、自分の地域についてもよく知るきっかけとなるよう、必要に応じて他方言についても解説しています。

例文と単語について

本書『中級アイヌ語—十勝—』の本編の例文と単語は、中川郡本別町に在住された沢井トメノ氏(1906-2006)から、執筆者の一人である高橋がご教示いただいた内容に基づき構成されています。各ステップの例文は沢井氏の実際の発話に基づくものであり、教科書執筆者による作例は掲載していません。また、各ステップで説明する内容に合わせ、比較的短く単純な用例を掲載しました。

音声について

アイヌ語の発音は日本語と異なっており、特に難しいところは、音声を聞きながら学習する必要があります。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように、例文や単語、言葉あそび、歌などの音声を収録しました。収録に協力してくださったのは、普段は日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた方々です。一般に言葉を学ぶときには、もともとその言葉を使っている方から教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうしたアイヌ語の発音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから、音声を用意しました。

文化的事項について

本書はアイヌ語の教科書ですが、アイヌ文化に関する解説をしたコラムを挿入してあります。これには三つの理由があります。アイヌ語話者の発話の中には、

文化的な背景の説明を要する語彙が含まれていることがあります。また、本書を用いて学習する方の中には、かつての生活習慣について、あわせて学びたいという方も少なくないと考えられます。そして、言葉の学び方は一つではなく、言葉を文化的な文脈の中に位置づけて、時には体験もまじえて習得することが効果を生むことも考えられます。こうした理由から、アイヌ文化についての解説も取り入れることにしました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方、さらに学習を進めたい方は、これまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を参照されることをおすすめします。

この本を編集する過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

【例文・単語】

志賀雪湖(静内方言)、高橋靖以(十勝方言)、田村雅史(釧路・白糠方言)

【文法解説】

志賀雪湖(静内方言)、高橋靖以(十勝方言)、田村雅史(釧路・白糠方言)、北原次郎太(執筆協力)、八谷麻衣(執筆協力)

【言葉遊び・歌】

北原次郎太、八谷麻衣

【音声収録(五十音順)】

加納ルミ子、豊川容子、中井貴規、八谷麻衣、山道ヒビキ、山道陽輪、山本りえ

【イラスト】

小笠原小夜、椎名庵

凡例

・本書のアイヌ語の表記は、主に『アコロイタク』（北海道ウタリ協会 1994）の表記法に基づいています。ただし、いくつか異なる点があります。詳しくは「音節表」を参照してください。

・例文は全てカタカナ・ローマ字・逐語訳の併記としました。解説中の例には必要に応じてローマ字を記載し、他はカタカナのみとしました。

・カタカナ表記は実際の発音をわかりやすく示すことを意図したものです。一方、ローマ字表記は、辞書検索がしやすいように、個々の語を境界ごとに区切って示しました。

・アクセントを説明する際、アクセントの位置を■で示しました。

・ローマ字表記において、人称接辞の境界を＝で示しました。また、音節の切れ目を'（アポストロフィー）で示す場合があります。

・ローマ字表記において、日本語の単語は大文字を用いて表記しました。

・例文において、別の文や節に現れる主語、目的語などを（ ）を用いて示す場合があります。

アイヌ語十勝方言 中級編 目次

序文…………… 2
 凡例…………… 5
 音節表…………… 8
 ① アイヌ語の発音と表記1…………… 10
 ② アイヌ語の発音と表記2…………… 12
 ③ 音の交替とアクセント…………… 14
 ④ 「～が…する」「～は～である」平叙文…………… 16
 ⑤ 「はい」「いいえ」で答える疑問文…………… 18
 ⑥ 疑問詞を用いた表現1…………… 20
 ⑦ 疑問詞を用いた表現2…………… 22
 ⑧ 「…しない」否定文…………… 24
 単語を覚えよう1 ～様子を表す言葉1～…………… 26
 さまざまなイボロセ1…………… 27
 ⑨ 「…しなさい」命令文1…………… 28
 ⑩ 「…しなさい」命令文2…………… 30
 ⑪ 「…するな」禁止文…………… 32
 ⑫ 「私が」「あなたが」1人称・2人称単数主格…………… 34
 ⑬ 「私たちが」「あなたたちが」1人称・2人称複数主格…………… 36
 ⑭ 「私たちが」包括的1人称複数主格…………… 38
 ⑮ 「私を」「あなたを」目的格人称…………… 40
 ⑯ 「私があなを」「あなたが私を」人称の組み合わせ…………… 42
 単語を覚えよう2 ～様子を表す言葉2～…………… 44
 さまざまなイボロセ2…………… 45
 ⑰ 尊敬の表現と不定人称…………… 46
 ⑱ 「私」「あなた」人称代名詞…………… 48
 ⑲ 動詞の単数・複数1…………… 50
 ⑳ 動詞の単数・複数2…………… 52
 ㉑ 動詞の単数・複数3…………… 54
 ㉒ 自動詞・他動詞・複他動詞…………… 56

㉓ 「たくさん」「少し」副詞…………… 58
 ㉔ 位置関係の表現1…………… 60
 単語を覚えよう3 ～動作を表す言葉1～…………… 62
 さまざまなイボロセ3…………… 63
 ㉕ 位置関係の表現2…………… 64
 ㉖ 場所の表現…………… 66
 ㉗ 所有の表現1…………… 68
 ㉘ 所有の表現2…………… 70
 ㉙ 親族関係の表現…………… 72
 ㉚ 形式名詞…………… 74
 ㉛ 連体修飾表現…………… 76
 ㉜ 「この」「その」「あの」連体詞…………… 78
 単語を覚えよう4 ～動作を表す言葉2～…………… 80
 さまざまなイボロセ4…………… 81
 ㉝ 「～へ」「～から」格助詞…………… 82
 ㉞ 「～も」「～だけ」副助詞…………… 84
 ㉟ 「…した」「これから…する」助動詞…………… 86
 ㊱ 「…して」「…しながら」接続助詞1…………… 88
 ㊲ 「…なので」「…すると」接続助詞2…………… 90
 ㊳ 「…するように」接続助詞3…………… 92
 ㊴ 接続助詞と動詞を組み合わせた表現1…………… 94
 ㊵ 接続助詞と動詞を組み合わせた表現2…………… 96
 単語を覚えよう5 ～程度を表す言葉～…………… 98
 さまざまなイボロセ5…………… 99
 ㊶ 「…だよ」「…ですか」終助詞…………… 100
 ㊷ 形式名詞による文末表現1…………… 102
 ㊸ 形式名詞による文末表現2…………… 104
 ㊹ 「…と」引用の表現…………… 106
 参考文献…………… 108

アイヌ語(北海道方言)の音節(カタカナ表記)

| | | | | |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|
| 【母音】 | | | | |
| ア | イ | ウ | エ | オ |
| 【子音+母音】 | | | | |
| カ | キ | ク | ケ | コ |
| サ | シ | ス | セ | ソ |
| タ | | トウ | テ | ト |
| チャ | チ | チュ/ツ | チエ | チヨ |
| ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ |
| ハ | ヒ | フ | ヘ | ホ |
| パ | ピ | プ | ペ | ポ |
| マ | ミ | ム | メ | モ |
| ヤ | イ | ユ | イエ | ヨ |
| ラ | リ | ル | レ | ロ |
| ワ | | ウ | ウエ | ウオ |
| 【母音+子音】 | | | | |
| アク | イク | ウク | エク | オク |
| アシ (アス) | イシ (イス) | ウシ (ウス) | エシ (エス) | オシ (オス) |
| アツ | イツ | ウツ | エツ | オツ |
| アン | イン | ウン | エン | オン |
| アプ | イプ | ウプ | エプ | オプ |
| アム | イム | ウム | エム | オム |
| アイ | | ウイ | エイ | オイ |
| アラ (アル) | イリ (イル) | ウル | エレ (エル) | オロ (オル) |
| アウ | | | エウ | オウ |
| 【子音(例としてカ行の音)+母音+子音】 | | | | |
| カク | キク | クク | ケク | コク |
| カシ (カス) | キシ (キス) | クシ (クス) | ケシ (ケス) | コシ (コス) |
| カツ | キツ | クツ | ケツ | コツ |
| カン | キン | クン | ケン | コン |
| カプ | キプ | クプ | ケプ | コプ |
| カム | キム | クム | ケム | コム |
| カイ | | クイ | ケイ | コイ |
| カラ (カル) | キリ (キル) | クル | ケレ (ケル) | コロ (コル) |
| カウ | キウ | | ケウ | コウ |

* () で示した音節は、単語によって固定されていたり、実際の発音を聞くと、同じ単語でも二通りの発音が聞かれる音節です。

* 例文の中で、前後の音によって発音が変わる場合、その発音を下線で示しました。

アイヌ語(北海道方言)の音節(ローマ字表記)

| | | | | |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|
| 【母音】 | | | | |
| a | i | u | e | o |
| 【子音+母音】 | | | | |
| ka | ki | ku | ke | ko |
| sa | si | su | se | so |
| ta | | tu | te | to |
| ca | ci | cu | ce | co |
| na | ni | nu | ne | no |
| ha | hi | hu | he | ho |
| pa | pi | pu | pe | po |
| ma | mi | mu | me | mo |
| ya | yi | yu | ye | yo |
| ra | ri | ru | re | ro |
| wa | | wu | we | wo |
| 【母音+子音】 | | | | |
| ak | ik | uk | ek | ok |
| as | is | us | es | os |
| at | it | ut | et | ot |
| an | in | un | en | on |
| ap | ip | up | ep | op |
| am | im | um | em | om |
| ay | | uy | ey | oy |
| ar | ir | ur | er | or |
| aw | iw | | ew | ow |
| 【子音(例として K)+母音+子音】 | | | | |
| kak | kik | kuk | kek | kok |
| kas | kis | kus | kes | kos |
| kat | kit | kut | ket | kot |
| kan | kin | kun | ken | kon |
| kap | kip | kup | kep | kop |
| kam | kim | kum | kem | kom |
| kay | | kuy | key | koy |
| kar | kir | kur | ker | kor |
| kaw | kiw | | kew | kow |

ステップ1 アイヌ語の発音と表記1

アイヌ語の音

アイヌ語の音は 5 つの母音(a, i, u, e, o)と 11 の子音(c, h, k, m, n, p, r, s, t, w, y)の組み合わせでできています。これらの音を表記する場合、カタカナまたはローマ字が用いられます。

音節（音の組み合わせ）

音の組み合わせのパターンには、次の4つがあります。

- ① 母音 ア a 「～が座る」
- ② 子音＋母音 マ ma 「～が泳ぐ」
- ③ 母音＋子音 エ k ek 「～が来る」
- ④ 子音＋母音＋子音 チ k cik 「～が滴る」

このような音の組み合わせの単位を「音節」と呼びます。①②のように母音で終わるものを「開音節」、③④のように子音で終わるものを「閉音節」と呼びます。

発音と表記のポイント

開音節について、発音と表記のポイントを説明します。

- (1)「母音」は「ア a, イ i, ウ u, エ e, オ o」で表記します。母音の発音は、日本語とほぼ同じですが、「ウ」は日本語よりもやや口の奥で発音されます。そのため、聞き取りが難しくなることがあります。また、地域や個人によっても多少発音が異なります。
- (2)「子音＋母音」は日本語の力行以降のカタカナと同じように書き表します。ただし、力行とガ行、タ行とダ行、パ行とバ行の区別(無声音と有声音の区別)はアイヌ語にはありません。また、サ行とシャ行の区別もありません(例えば、スサム susam 「シシャモ」を「シュシャム」と発音しても、言葉の意味は変わりません)。
- (3)タ行は「タ ta, トゥ tu, テ te, ト to」です。「ティ ti」の音はアイヌ語では用いられません。
- (4)チャ行は「チャ ca, チ ci, チュ/ツ cu, チェ ce, チョ co」と表記されます。
- (5)ヤ行は「ヤ ya, イ yi, ユ yu, イェ ye, ヨ yo」です。イェは、「イ」と「エ」をつなげて発音します。なお、「イ yi」は単語の先頭には現れません。yi は y で終わる形と i で始まる形が、単語の中で続いた場合にあらわれます。

- (6)ワ行は「ワ wa, ウ wu, ウェ we, ウォ wo」です。「ウェ」は「ウェブ」の「ウエ」のように、「ウ」と「エ」をつなげて発音します。「ウォ」は「ウ」と「オ」をつなげて発音します。yi は y で終わる形と i で始まる形が、単語の中で続いた場合にあらわれます。なお、「ウ wu」は単語の先頭には現れません。wu は w で終わる形と u で始まる形が、単語の中で続いた場合に現れます。

ステップ2 アイヌ語の発音と表記2

音節末の子音の表記

閉音節について、表記のポイントを説明します。

(1) 閉音節の末尾には、k, m, n, p, r, s, t, w, y が現れます。c は閉音節の末尾には現れません。h が閉音節の末尾に現れるのは、主にサハリンの方言だけです。

(2) カタカナでは、閉音節の末尾の音を小文字で表記します。閉音節の末尾の k, m, p, s, t は小文字の「ク、ム、プ、シ、ッ」で表記します。

サク sak 「～が～を欠く」 モム mom 「～が流れる」 フプ hup 「～が腫れる」
チシ cis 「～が泣く」 サツ sat 「～が乾く」

(3) m の後に p が続くときは「ン」で表記します。

トウンプ tumpu 「部屋」 サンペ sampe 「心臓」

(4) 閉音節の末尾の r は、前の母音と対応するラ行の小文字で表記します。r の音は、軽く舌先ではじくような発音です。

カラ kar 「～が～を作る」 ピリ pir 「傷」 クル kur 「人、影」 ケレ ker 「履物」
コロ kor 「～が～を持つ」

(5) n, w, y は子音ですが、カタカナは大文字のまま表記します。

ラン ran 「～が下りる」 マウ maw 「風」 スイ suy 「穴」

なお、この方法では、「イ」に y と i、「ウ」に w と u という二つの音が割り当てられることとなります。これを避けるために、w や y にあたる部分を小文字で表記する方法もあります。

マウ maw 「風」 スイ suy 「穴」

(6) 子音の連続 -kk-, -tk-, -pp-, -ss-, -tp-, -tt- は「ッ」で表記します。カタカナでは「ッ」ですが、ローマ字の表記を見ると全て違う音であることがわかります。

ワッカ wakka 「水」 ウッカ utka 「浅瀬」 チカッポ cikappo 「小鳥」
シッスミ sissumi 「地震」 ミッポ mitpo 「孫」 エカッタラ ekattar 「子供達」

なお、音の違いをより厳密に表記するという立場もあり、それに従うと、上記の単語はこのように表記されます。

ワッカ wakka 「水」 ウッカ utka 「浅瀬」 チカッポ cikappo 「小鳥」
シッスミ sissumi 「地震」 ミッポ mitpo 「孫」 エカッタラ ekattar 「子供達」

ステップ3 音の交替とアクセント

音の交替

アイヌ語では、単語の最後の音と、次の単語の最初の音がつながった時に、音が交替することがあります。

モコロ mokor 「～が眠る」 + ルスイ rusuy 「～したい」
→ モコン ルスイ mokor rusuy 「～が眠りたい」

ウサラ usar 「下座」 + タ ta 「～に」
→ ウサッ タ usar ta 「下座に」

ナンコロ nankor 「～だろう」 + ナ na 「～だよ」
→ ナンコン ナ nankor na 「～だろうよ」

モム mom 「～が流れる」 + ワ wa 「～して」
→ モム マ mom wa 「～が流れて」

このような音の交替には、方言による差がみられます。ひとつずつ事例を覚えていきましょう。

このテキストでは、音が交替するときは、交替する前のかたち（元の単語の形）をローマ字で表し、交替した後のかたち（変化した形）をカタカナで表しています。

音の連結

閉音節の単語（子音で終わる単語）の後に、母音で始まる単語がくると、二つの単語が続けて発音されることがあります。

ペツ pet 「川」 オロ or 「ところ」 エン en 「～へ」
→ ペトレン pet or en 「川のところへ」

サプ sap 「～が下る」 アン=an 「私たちが」 アクス akus 「…すると」
→ サパナクス sap=an akus 「私たちが下ると」

このテキストでは、音が続けて発音される場合も、交替する前のかたち（元の単語の形）をローマ字で表し、交替した後のかたち（変化した形）をカタカナで表しています。

アクセント

アイヌ語のアクセントには、次の2つの規則があります。

- (1) 最初の音節が開音節のときは、2番目の音節が高く発音されます(ただし、一部例外があります)。

パケ pake 「頭」 シタ sita 「犬」 ノヤ noya 「ヨモギ」

- (2) 最初の音節が閉音節のときは、最初の音節が高く発音されます。

アイヌ aynu 「人間」 パシクル paskur 「カラス」 スンク sunku 「エゾマツ」

アクセントの規則には例外があります。以下の単語は、最初の音節が開音節で、アクセントが最初の音節にあるものです。このような単語は、個々にアクセントを覚える必要があります。

エカシ ekasi 「祖父」 フチ huci 「祖母」 ミチ mici 「父」 ハポ hapo 「母」
レラ rera 「風」 フラ hura 「匂い」 ウナ una 「灰」 ウセイ usey 「湯」

ステップ4 「～が…する」「～は～である」平叙文

(例文)

1. ソンコ エク。
sonko ek.
知らせ 来る
「手紙が来る」

2. イソポ テレケ カン ホユプ。
isopo terke kan hoyupu.
ウサギ 跳ねる て 走る
「ウサギが跳ねながら走る」

3. トオンタ オカイ ウタヲ アナク ウシ レシパ カン オカイ。
toonta okay utar anak USI respa kan okay.
あそこに いる 人々 は 牛 育てる て いる
「あそこにいる人たちは牛を育てている」

4. タアン イタンキ アナクネ カムイ イタンキ ネ。
taan itanki anakne kamuy itanki ne.
この 御椀 は 立派な 御椀 である
「この御椀は立派な御椀だ」

「～が…する」「～は～である」の言い方

(初級ステップ6,8参照)

「～が…する」「～が～である」のようなタイプの文を平叙文と呼びます。平叙文には、主に次のようなタイプがあります。

主語(名詞) + 自動詞

主語(名詞) + 目的語(名詞) + 他動詞

主語(名詞) + 補語(名詞) + 指定詞(ネ ne 「～が～である」)

上記のように、主語や目的語などの名詞は動詞の前に置かれます。なお、アイヌ語では主語や目的語を示す「が」や「を」という言葉はつきません。また、動詞には「…する」「～した」のような現在と過去の区別はみられません。

ステップ5 「はい」「いいえ」で答える疑問文

(例文)

1. ナア ポロンノ アン?
naa poronno an?
まだ たくさん ある
「まだたくさんあるのか」
2. ケラアン?
keraan?
おいしい
「おいしいか」
3. ネブ カイ モンライケ アン ヤ?
nep kay monrayke an ya?
何 か 仕事 ある か
「何か仕事があるのか」
4. シタ ヘ?
sita he?
犬 か
「犬(の)ことか」

「はい」「いいえ」で答える疑問表現

(初級ステップ9,10参照)

「～か」という疑問文にはいくつかのパターンがあります。以下では「はい」「いいえ」で答える疑問文について説明します。

- (1) 平叙文の文末を高く上げて発音すると、「はい」「いいえ」で答える疑問文になります(例文1,2)。
- (2) 動詞の後にヤ ya 「～か?」という終助詞をつけて、「はい」「いいえ」で答える疑問文をつくることもできます(例文3)。
- (3) 名詞の後にヘ he 「～か」という終助詞をつけて、「はい」「いいえ」で答える疑問文をつくることもできます(例文4)。

これらの疑問に答える場合、「はい」ならばエ e、「いいえ」ならばソモ somo という言葉が用いられます。

ステップ6 疑問詞を用いた表現1

(例文)

1.

| | | | |
|-----|-----|----|-----|
| ネン | コロ | ペ | ヘ? |
| nen | kor | pe | he? |
| 誰 | 持つ | もの | か |

「誰のものか」

2.

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|----|------|----------|----|--------|
| ネプ | カイ | ウェン | ペ | ソモ | エエ | アル | ヘ? |
| nep | kay | wen | pe | somo | e=e | a | ru he? |
| 何 | か | 悪い | もの | (否定) | あなたが・食べる | た | のか |

「何か悪いものをあなたは食べたのか」

3.

| | | | | |
|-----|----|-------|----|-----|
| ネイ | タ | カムイ | アン | ヤ? |
| ney | ta | kamuy | an | ya? |
| どこ | に | クマ | いる | か |

「どこにクマがいるのか」

4.

| | | | | | | | |
|------|----|----|--------|-----|-----|-----|---------|
| シネ | ト | タ | ネンパク | スイ | カイ | イペ | クカラ。 |
| sine | to | ta | nempak | suy | kay | ipe | ku=kar. |
| 一つの | 日 | に | いくつの | 回 | も | 食べ物 | 私が・つくる |

「一日に何度も私は食事をつくる」

5.

| | | |
|--------|-------|-----|
| インキアン | チキリ | ヘ? |
| inkian | cikir | he? |
| どちらの | 足 | か |

「(鹿皮の履物に使うのは) どちらの足か」

疑問詞を用いた表現1

(初級ステップ26,27参照)

このステップでは、疑問名詞、疑問連体詞を用いた疑問文について説明します。これらの疑問詞は通常単独で使われることはなく、他の語句と組み合わせて用いられます。

(1) 疑問名詞には以下の種類があります。これらの疑問名詞は動詞の前に置かれたり、終助詞を伴うことにより、様々な疑問の意味を表します。

ネン nen 「誰」 ネプ nep 「何」 ネイ ney 「どこ」

(2) 疑問連体詞には以下の種類があります。これらの疑問副詞は名詞の前に置かれ、様々な疑問の意味を表します。

ネンパク nempak 「いくつの」 インキアン inkian 「どちらの」

(3) これらの疑問名詞、疑問連体詞は、対象を特定しない不定の疑問の表現にも用いられます(例文2,4)。

ステップ7 疑問詞を用いた表現2

(例文)

1. オノン エク シタ タパナ？
 onon ek sita tap an a?
 どこから 来る 犬こそ ある か
 「どこから来た犬だろうか」
2. エノン エオマン シツ タパナ？
 enon e=oman sir tap an a?
 どこへ あなたが・行く 様子こそ ある か
 「あなたはどこへ行くのか」
3. ネンパラ イタク エネ ヤッカイ ウネヅコン アン イタク ケライポ キ。
 nempara itak ene yakkay unepkon an itak keraypo ki.
 いつ 話す でも ても 同じように ある 言葉 ばかり する
 「いつ話しても同じことばかり言う」
4. ネコン タプ レアナ？
 nekon tap rean a?
 どうこそ 名前がある か
 「何という(どのような)名前か」

疑問詞を用いた表現2

(初級ステップ26,27参照)

このステップでは、疑問副詞を用いた疑問文について説明します。疑問副詞は通常単独で使われることはなく、他の語句と組み合わせて用いられます。

- (1) 疑問副詞には以下の種類があります。これらの疑問副詞は動詞の前に置かれ、様々な疑問の意味を表します。

オノン onon 「どこから」 エノン enon 「どこへ」 ネンパラ nempara 「いつ」
 ネコン nekon 「どう」

- (2) これらの疑問副詞は、対象を特定しない不定の疑問の表現にも用いられます(例文3)。

ステップ8 「…しない」否定文

(例文)

1. タアン マキリ エヌカラ ワ ネプ クトウイパ ヤツカイ
 taan makiri enukar wa nep ku=tuypa yakkay
 この 小刀 切れない て 何 私が・切る ても

ソモ トウイ。
 somo tuy.
 (否定) 切れる

「この小刀は切れ味が悪くて、何を切っても切れない」

2. アイヌ パイエカイ ソモ キ。
 aynu payekay somo ki.
 人間 歩き回る (否定) する

「人々が歩き回らない」

3. アウン ウタラ カイ ソモ ネ。
 awun utar kay somo ne.
 隣りにいる 人々 (否定) (否定) である

「隣りの家の人々ではない」

4. クメウン カイ ソモ キ。
 ku=meun kay somo ki.
 私が・寒い も (否定) する

「私は寒くない」

「…しない」の言い方

(初級ステップ7参照)

「…しない」「～ではない」などの否定の表現には**ソモ somo**という言葉が用いられます。

ソモは副詞であり、動詞の前に置かれます。例文1では**トウイ tuy**「～が切れる」という動詞の前に**ソモ**が置かれ、「切れない」という否定文がつくられています。

また、動詞の後ろに**カイ ソモ キ kay somo ki**「…しない」というフレーズをつけて否定の意味を表すこともできます(例文4)。**カイ kay**は否定の焦点を示す副助詞です(副助詞についてはステップ34を参照してください)。

単語を覚えよう1 ～様子を表す言葉1～

| | | | |
|-----|------|-------|---------|
| 1. | ピリカ | pirka | 「～が良い」 |
| 2. | ウェン | wen | 「～が悪い」 |
| 3. | ポロ | poro | 「～が大きい」 |
| 4. | ポン | pon | 「～が小さい」 |
| 5. | タンネ | tanne | 「～が長い」 |
| 6. | タクネ | takne | 「～が短い」 |
| 7. | ルイエ | ruye | 「～が太い」 |
| 8. | アネ | ane | 「～が細い」 |
| 9. | ハンケ | hanke | 「～が近い」 |
| 10. | トゥイマ | tuyma | 「～が遠い」 |

さまざまなイポロセ1

沙流・静内地方

◇富川 年賀状の文

① タアン アシリ パ ソンノ ヌペツネノ
 taan asir pa sonno nupetneno
 この新しい年に心から慶びながら

アコシキリパ。 サクパ オッタ
 a=kosikirpa. sakpa or ta
 向かいます。(今年の) 夏期と

ネノカネ ピリカスクプアン クニ
 neno kane pirkasukup=an kuni
 同様に健やかな暮らしをなさるよう

カムイ オルン クオンカミ ナ。
 kamuy orun ku=onkami na.
 カムイに祈念申し上げます。

(書き手：鍋沢元蔵さん)

※下線部分にあたる別の言い方としてアシリパ アウクワ シノ ケヤイコプンテクナ
 「新しい年を取り、本当に嬉しく思っています」という表現もあります。

◇東静内 年賀状の文

アシリパ オッタ ヌプルカンピ
 asir pa or ta nupurkampi
 新年にあたっての尊いお手紙(賀状)に

パセノポ クオンカミ ナ。
 pasenopo ku=onkami na.
 丁重に拝礼します。

ピリカ アシリ パ アノシキル キワ
 pirka asir pa an=osikiru ki wa
 良い年をお迎えになり

イワンケアン ワ ピリカモンライケアン クニ
 iwanke=an wa pirkamonrayke=an kuni
 お達者で、良いお仕事をなさいますように

クオンカミ ナ。パセノポ イヤイライケレ。
 ku=onkami na. pasenopo iyayraykere.
 ご祈念申し上げます。誠にありがとうございます。

(書き手：佐々木太郎さん)

☆釧路アイヌ文化懇話会『アイヌ・モシリー幻のアイヌ語誌復刊』から転載しました。転載にあたって一部の表記を改変しました。ローマ字・訳は北原によります。

ステップ9 「…しなさい」 命令文1

(例文)

1. タアント エク ワ モナ。
 taanta ek wa mona.
 ここに 来る て 座る

「ここに来て座りなさい」

2. エタク イペ。
 etak ipe.
 さあ 食べる

「さあ食べなさい」

3. ヤイエヤマニ。
 yayeyam ani.
 自愛する なさい

「身体を大事にしなさい」

4. カタク カラ ワ アマ アニ。
 katak kar wa ama ani.
 糸玉 作る て 置く なさい

「糸玉を作っておきなさい」

「…しなさい」の言い方1

(初級ステップ12参照)

「…しなさい」という命令文には、いくつかのパターンがあります。

- (1) 命令の表現には、動詞をそのまま用いることができます(例文1, 2)。ただし、命令の表現においては、命令する相手を表す人称接辞(ステップ12参照)はつきません。例えば、**エヌカラ e=nukar**「あなたが見る」という表現は、「見なさい」という命令の意味では通常用いられません。
- (2) 念を押すような命令の表現には、**アニ ani**「…しなさい」という終助詞が用いられます(例文3, 4)。

ステップ10 「…しなさい」 命令文2

(例文)

1. ピリカノ チェブ スイエ ヤン。
 pirkano cep suye yan.
 良く 魚 煮る なさい
 「よく魚を煮なさい」
2. アペ マウエ ポンノ ラッチレ ヤン。
 ape mawe ponno ratcire yan.
 火 気配 少し 静かにさせる なさい
 「炎を少し小さくしなさい」
3. ピリカノ チブ シナ ヤナニ。
 pirkano cip sina yan ani.
 良く 舟 縛る なさい よ
 「よく舟をしばりなさい」
4. トウシテク パテク エチキ ナンコロ。
 tustek patek eci=ki nankor.
 黙る ばかり あなたたちが・する だろう
 「あなたたちは黙っていなさい」

「…しなさい」の言い方2

(初級ステップ12参照)

このステップでは、複数の相手に対する命令表現、丁寧な命令の表現について説明します。

- (1) 複数の相手に対する命令には、**ヤン yan** 「…しなさい」という終助詞が用いられます(例文1,2)。なお、単数と複数の区別がある自動詞の場合、**ヤン**は複数形の動詞の後につけられます(例：**アラキ ヤン arki yan**「来なさい(アラキはエクの複数形)」)。
- (2) **ヤン**を単独の相手に対して用いると、丁寧な命令の表現となります。
- (3) **ヤン**とステップ9の**アニ**は、組み合わせて用いられることがあります。その場合は、**ヤナニ yan ani**という順序になります(例文3)。
- (4) **ナンコロ nankor**「…するだろう」という助動詞を用いると、遠まわしな命令の表現となります(例文4)。なお、**ナンコロ**を用いた命令表現では、命令する相手を表す人称接辞がつけられます。

ステップ11 「…するな」禁止文

(例文)

1. イテッケ オユプ。
itekke oyupu.
(禁止) 走る
「走るな」
2. イテッケ スンケ ヤン。
itekke sunke yan.
(禁止) 嘘をつく なさい
「嘘をつくな」
3. イテッケ イッカ アニ。
itekke ikka ani.
(禁止) 盗む なさい
「盗みをするな」
4. カムイ エロク コタン イテッケ コアツチャ ヤナニ。
kamuy erok kotan itekke koatca yan ani.
神 座る 村 (禁止) 汚す なさい よ
「神の住むところを汚してはならない」

「…するな」の言い方

(初級ステップ12参照)

「…するな」という禁止の表現には**イテッケ itekke**という言葉が用いられます。

イテッケは副詞であり、動詞の前に置かれます。例文1では**オユプ oyupu**「～が走る」という動詞の前に**イテッケ**が置かれ、「走るな」という禁止の表現がつけられています。なお、命令の表現と同様に、禁止の表現においても聞き手を表す人称接辞はつけられません。

また、禁止の表現にも、**ヤン yan** や**アニ ani**などの命令を表す終助詞をつけることができます(例文2,3,4)。

ステップ12 「私が」「あなたが」1人称・2人称単数主格

(例文)

1. ポロンノ トノト クカラ。
poronno tonoto ku=kar.
たくさん 酒 私が・つくる
「私は酒をたくさんつくる」
2. ウ克蘭 アナク ピリカノ クモコロ テク クヤイエシオロ。
ukuran anak pirvano ku=mokor tek ku=yayesioro.
昨夜 は 良く 私が・眠る て 私が・安心する
「昨夜、私はよく眠って落ち着いた」
3. ソモ エワツカタ ヤツカイ ピリカ。
somo e=wakkata yakkay pirka.
(否定) あなたが・水汲みする ても 良い
「あなたは水を汲まなくてもよい」
4. コタンコロカムイ エヌカラ アルヘ?
kotankorkamuy e=nukar a ru he?
シマフクロウ あなたが・見る た の か
「あなたはシマフクロウを見たのか」

「私が」「あなたが」の表現

(初級ステップ14参照)

アイヌ語の動詞は、人称によって形が変化します。人称を表す言葉は動詞に付属するものであり、人称接辞と呼ばれます。人称接辞には、主語を表すもの(主格人称接辞)と目的語を表すもの(目的格人称接辞)があります。このステップでは、「私が(1人称単数主格)」「あなたが(2人称単数主格)」の表現について説明します。

- (1)「私が…する」と表現する場合には、動詞の前にク ku=「私が」をつけます(例文1,2)。
- (2)「あなたが…する」と表現する場合には、動詞の前にエ e=「あなたが」をつけます(例文3,4)。
- (3)アイヌ語では、文の中の全ての動詞に人称接辞がつきます(例文参照)。日本語の「私が(は)」「あなたが(は)」という言葉とは使い方が異なりますので、注意する必要があります。
- (4)動詞の前にク ku=やエ e=がつくと、アクセントが移動する場合があります(アクセントの規則についてはステップ3を参照してください)。

モコロ mokor 「～が眠る」 → クモコロ ku=mokor 「私が眠る」
ヌカラ nukar 「～が～を見る」 → エヌカラ e=nukar 「あなたが～を見る」

ステップ13 「私たちが」「あなたたちが」1人称・2人称複数主格

(例文)

- ピリカ ウチャココ チキ ハウ エシタパン ネ。
 pirka ucakoko ci=ki haw estap an ne.
 良い 話し合い 私たちが・する の こそ ある よ
 「私たちはよい話し合いをした」
- クルマ アン ワ チオ テク アラキアシ。
 KURUMA an wa ci=o tek arki=as.
 車 ある て 私たちが・乗る て 来る・私たちが
 「車があって、私たちはそれに乗って来た」
- シネ ウクラン エチレウシ。
 sine ukuran eci=rewsi.
 一つの 晩 あなたたちが・泊る
 「あなたたちが一晩泊る」
- タアン チェプ エンコタ エチカラ ソモ キ クス
 taan cep enkota eci=kar somo ki kus
 この 魚 早く あなたたちが・つくる (否定) する ので
 ムニン ワ アン。
 munin wa an.
 腐る て いる
 「この魚は早くあなたたちが調理しなかったので腐っている」

「私たちが」「あなたたちが」の表現

(初級ステップ15,20参照)

このステップでは、「私たちが(1人称複数主格)」「あなたたちが(2人称複数主格)」の表現について説明します。なお、「私たちが」の表現には、聞き手を含む場合(包括的1人称複数主格)と聞き手を含まない場合(除外的1人称複数主格)の二通りの表現があります。聞き手を含む「私たちが」の表現については、ステップ14で説明します。

- 聞き手を含まずに「私たちが…する」と表現する場合には、動詞にチ ci=「私たちが」またはアシ=as「私たちが」をつけます。チ ci= は他動詞の前につく形です(例文1)。アシ=as は自動詞の後ろにつく形です(例文2)。
- 「あなたたちが…する」と表現する場合には、動詞の前にエチ eci=「あなたたちが」をつけます(例文3,4)。
- 単数・複数の区別がある自動詞の場合、アシ=as やエチ eci= は複数の形につきます(例文2,4)。
- 他動詞の前にチ ci= がつくと、アクセントが移動する場合があります。また、自動詞の後ろにアシ=as がつくと、アシ=as にもアクセントが置かれます。

ヌカラ nukar 「～が～を見る」→チヌカラ ci=nukar 「私たちが～を見る」
 ホツケ hokke 「～が寝る」→ホツケアシ hokke=as 「私たちが寝る」

- 動詞の前にエチ eci= がつく場合、アクセントは移動しません。

ヌカラ nukar 「～が～を見る」→エチヌカラ eci=nukar 「あなたたちが～を見る」

| 十勝 | 除外的 1人称複数 (聞き手を含まない) | 包括的 1人称複数 (聞き手を含む) |
|--------|---|---|
| 自動詞 |  |  |
| 名詞 他動詞 |  |  |

a-i-ueoで始まり語頭にアクセントのない場合はanが使われます。

ステップ14 「私たちが」 包括的 1人称複数主格

(例文)

- アイヌ パイエカイ シリ アヌカラ。
aynu payekay sir a=nukar.
人間 歩き回る 様子 私たちが・見る
「人々が歩き回る様子を私たちは見た」
- ウォルンチカマ アノカキシマ ワ ペッチャ タ アアレ。
woruncikap an=okakisma wa petca ta a=are.
カモ 私たちが・つかまえる て 川岸 に 私たちが・置く
「私たちはカモをつかまえて川岸に置いた」
- イルカイ モコロアン ルスイ。
irukay mokor=an rusuy.
しばらく 眠る・私たちが したい
「私たちはしばらく眠りたい」
- ペトレン ラパン ワ マアン。
pet or en rap=an wa ma=an.
川 ところへ 降る・私たちが て 泳ぐ・私たちが
「私たちは川へ降りて泳いだ」

聞き手を含む「私たちが」の表現

(初級ステップ16, 21 参照)

このステップでは、聞き手を含む「私たちが」の表現（包括的1人称複数主格）について説明します。

- 聞き手を含めて「私たちが…する」と表現する場合には、動詞にア a=「私たちが」、アン an=「私たちが」またはアン=an「私たちが」をつけます。ア a=とアン an=は他動詞の前につく形です(例文1, 2)。アン=anは自動詞の後ろにつく形です(例文3, 4)。
- アン an=は先頭にアクセントを持たない、母音で始まる他動詞につきます。それ以外の他動詞にはア a=がつきます(例文2)。
- 単数・複数の区別がある自動詞の場合、アン=anは複数の形につきます(例文4)。
- 他動詞の前にア a=、アン an=がつく場合、アクセントは移動しません。一方、自動詞の後ろにアン=anがつくと、アン=anにもアクセントが置かれます。

ヌカラ nukar 「～が～を見る」 → アヌカラ a=nukar 「私たちが～を見る」
アマ ama 「～が～を置く」 → アナマ an=ama 「私たちが～を置く」
ホッケ hokke 「～が寝る」 → ホッケアン hokke=an 「私たちが寝る」

| 十勝 | ①①① 1人称複数 除外的 (聞き手を含まない) | ①①① 1人称複数 包括的 (聞き手を含む) |
|-----------|---|---|
| 自動詞 |  |  |
| 名詞 他動詞 |  |  |

a-i-ueoで始まり語頭にアクセントのない場合はan=が使われます。

ステップ15 「私を」「あなたを」目的格人称

(例文)

1. エンアフンケ ワ エンコレ ヤン。
 en=ahunke wa en=kore yan.
 私を・入れる て 私に・くれる なさい
 「私を中に入れてください」

2. アウ タ アン クル ランマノ テエン エク ワ
 aw ta an kur rammano teen ek wa
 隣りに いる 人 いつも ここへ 来る て
 ポンノ ウンカスイ。
 ponno un=kasuy.
 少し 私たちを・手伝う
 「隣りの家の人はいつもここへ来て少し私たちを手伝ってくれる」

3. チニタ オツ タ エネ ネ ヤツカイ カムイ イチャココ。
 cinita or ta ene ne yakkay kamuy i=cakoko.
 夢 中 で でも である ても 神 私たちを・教える
 「夢の中ででも神が私たちを（危険な目にあわないように）教え諭す」

4. ウエンカムイ エエチウカ ル タパン ナ。
 wenkamuy e=eciwka ru tap an na.
 悪いクマ あなたを・待つ こと こそ ある よ
 「悪いクマがあなたを待ち伏せしているぞ」

5. ポンノ エチチャココアン ナンコロ。
 ponno eci=cakoko=an nankor.
 少し あなたたちを・教える・私が だろう
 「少しあなたたちに教えてあげよう」

「私を」「あなたを」などの表現

(初級ステップ17, 18, 19参照)

このステップでは、「私を（1人称単数目的格）」「あなたを（2人称単数目的格）」などの表現（目的格人称接辞）について説明します。

- (1)「私を(に)…する」と表現する場合には、他動詞の前に**エン en**＝「私を(に)」をつけます(例文1)。
- (2)聞き手を含めずに「私たちを(に)…する」と表現する場合には、他動詞の前に**ウン un**＝「私たちを(に)」をつけます(例文2)。
- (3)聞き手を含めて「私たちを(に)…する」と表現する場合には、他動詞の前に**イ i**＝「私たちを(に)」をつけます(例文3)。
- (4)「あなたを(に)…する」と表現する場合には、他動詞の前に**エ e**＝「あなたを(に)」をつけます(例文4)。
- (5)「あなたたちを(に)…する」と表現する場合には、他動詞の前に**エチ eci**＝「あなたたちを(に)」をつけます(例文5)。

ステップ16 「私があなを」「あなたが私を」人稱の組み合わせ

(例文)

1. タアン ペ エチコレアン ナ。
 taan pe eci=kore=an na.
 この もの あなたに・与える・私が よ
 「これを私があなたにあげるよ」
2. ポンペツ オロ ワ タアン クルマ
 ponpet or wa taan KURUMA
 本別 ところ から この 車
 エチオレアン テク アラキアン。
 eci=ore=an tek arki=an.
 あなたたちを・乗せる・私が て 来る・私たちが
 「私は本別からこの車にあなたたちを乗せて(私たちは)来た」
3. タアン ハナ エエンコレ アル へ?
 taan HANA e=en=kore a ru he?
 この 花 あなたが・私に・与える た の か
 「この花はあなたが私にくれたのか」
4. タアン ペ パクノ エチエンカラ クニ
 taan pe pakno eci=en=kar kuni
 この もの まで あなたたちが・私に・する ように
 ソモ クヤイヌ。
 somo ku=yaynu.
 (否定) 私が・考える
 「これほどまで、あなたたちが私に(丁寧な儀式を)してくれるとは思わなかった」

「私があなを」「あなたが私を」などの表現

「私があなを…する」「あなたが私を…する」などは、主格と目的格の人稱接辞を組み合わせて表現します(主格目的格人稱変化と呼ばれます)。主格と目的格の組み合わせは、方言による違いが大きく、詳細が不明な地域もあります。

以下の表は十勝方言の人稱の組み合わせです。縦の列は主格の人稱、横の列は目的格の人稱を示しています。主格人稱と目的格人稱の単純な組み合わせからは予測できない不規則な形が用いられる場合がありますので、注意が必要です(*はそのような組み合わせがないことを示しています)。

| 目~に 主~が | 私に | 私たちに | 私たちに | 君に | 君たちに | 彼に |
|------------|-------------------------|-------------------------|-----------------|-------------------------|-------------------------|--------------------|
| 私か | | | | エチコレアン。 eci=kore=an. | エチコレアン。 eci=kore=an. | クコレ。 ku=kore. |
| 私たちが | | | | エチコレアン。 eci=kore=an. | エチコレアン。 eci=kore=an. | チコレ。 ci=kore. |
| 私たちが | | | | | | アコレ。 a=kore. |
| 君か | エエンコレ。 e=en=kore. | エウンコレ。 e=un=kore. | | | | エコレ。 e=kore. |
| 君たちが | エチエンコレ。 eci=en=kore. | エチウンコレ。 eci=un=kore. | | | | エチコレ。 eci=kore. |
| 彼か | エンコレ。 en=kore. | ウンコレ。 un=kore. | イコレ。 i=kore. | エコレ。 e=kore. | エチコレ。 eci=kore. | コレ。 kore. |

単語を覚えよう2 ～様子を表す言葉2～

| | | | |
|-----|------|--------|---------|
| 1. | パセ | pase | 「～が重い」 |
| 2. | コシネ | kosne | 「～が軽い」 |
| 3. | リ | ri | 「～が高い」 |
| 4. | ラム | ram | 「～が低い」 |
| 5. | イロンネ | ironne | 「～が厚い」 |
| 6. | カパラ | kapar | 「～が薄い」 |
| 7. | セセク | sesek | 「～が熱い」 |
| 8. | ヤム | yam | 「～が冷たい」 |
| 9. | ポプケ | popke | 「～が暖かい」 |
| 10. | メアン | mean | 「寒い」 |

さまざまなイポロセ2

塘路・釧路地方

◇塘路 山で大木があったときの祈り

シリコロカムイ ウェンメノコ チネヤツカイキ
sirkorkamuy wen menoko ci=ne yakkayki
立木の神よ、不束な女ですけれど

タンパク アニ エチノミアンナ。
tanpaku ani eci=nomi=an na.
タバコによって貴方を祭りますよ。

イカシッカマワエンコレ
ikasikkama wa en=kore.
見守ってください。

(語り手：伊藤つるさん・吉田はるさん)

☆この唱えごとを掲載するにあたり更科源蔵『コタン探訪帳』No.10を参照しました。

◇釧路千代の浦 アイヌ語による手紙

カンピ アニ クソンコオマンテ ナ。エコタン※ タ アイヌ オプッタノ
kampi ani ku=sonkoomante na. e=kotan ta aynu oputtano
紙によって言葉を送りますよ。 あなたの村では人々みな

ウイワンケレ ワ アンナ。チコタン※ アナクネ アイヌ オプッタノ
uywankere wa an a? ci=kotan anakne aynu oputtano
互いに達者でいますか。 私の村では、人々みな

ウイワンケレ ワ オカイ クス エラムアン ワ イコレ。エマチ ウサ
uywankere wa okay kusu eramuan wa i=kore. e=maci usa
互いに達者で暮らしていますから そう思って下さい。あなたの奥さんも

エポ ウサ イワンケ ワ アンナ。
e=po usa iwanke wa an a?
あなたのお子さんもお達者ですか。

(書き手：山本順吉さん)

☆釧路アイヌ文化懇話会『アイヌ・モシリー幻のアイヌ語誌復刊』から転載しました。転載にあたって一部の表記を改変しました。ローマ字・訳は北原によります。

※コタヌ kotanu という場合もあります。沙流方言、十勝方言などでは、このような場合常にコタヌになります。

ステップ17 尊敬の表現と不定人称

(例文)

1. アノカイ エノン パイエアン テク タプ オシツパアン ル アナ?
 anokay enon paye=an tek tap osippa=an ru an a?
 あなた どこへ 行く・あなたが てこそ 戻る・あなたが の ある か
 「あなたはどこへ行って帰ってきたのですか」
2. エクスン パイエアン ヤ?
 ekusun paye=an ya?
 対岸へ 行く・あなたが か
 「あなたは川向かいへ行くのですか」
3. タネ スイ エチオシツパ ル ヘ?
 tane suy eci=osippa ru he?
 今 また あなたが・帰る の か
 「これからまたあなたは帰るのですか」
4. ペツ コパケン アパ ソモ アカラ ペ ネ。
 pet kopak en apa somo a=kar pe ne.
 川 方向 へ 戸 (否定) 人が・つくる もの である
 「川の方向に戸口はつくりません」
5. クンナノ ワッカタアン コロ ワッカ ピリカ。
 kunnano wakkata=an kor wakka pirka.
 朝 水汲みする・人がと 水 良い
 「朝に水汲みすると水がきれいだ」

尊敬の表現

アイヌ語では、人称接辞やある種の名詞を用いて尊敬の表現が組み立てられます。このステップでは、主に人称接辞による尊敬の表現について説明します。

- (1) 聞き手に対する尊敬を表す場合には、ア a=(アン an=)、アン =an、イ i= という人称接辞が用いられます(例文 1,2)。
- (2) 2人称の複数を表わすエチ eci=「あなたたちが、あなたたちを」が聞き手に対する丁寧な表現を表わすことがあります。このタイプの表現は、ア a= やアン =an を用いた尊敬表現よりも幅広く使われる傾向がみられます(例文 3)。
- (3) 単数と複数の区別のある動詞の場合には、複数形の動詞が用いられます(例文 1, 2, 3)。
- (4) 人称代名詞 anokay が尊敬の表現で用いられることがあります(例文 1)。人称代名詞についてはステップ 18 で取り上げます。

不定人称

包括的 1 人称複数の =(an=), =an, i= は、「一般に人が(を)、誰かが(を)」のような不特定の意味を表すことがあります(例文 4, 5)。これを不定人称と呼びます。

ステップ 18 「私」「あなた」人称代名詞

(例文)

- クアニ エカシ オレン クオマン。
 kuani ekasi or en ku=oman.
 私 おじいさん ところ へ 私が・行く
 「私はおじいさんのところへ行く」
- エアニ ネプ タプ エキ シラナ？
 eani nep tap e=ki sir an a?
 あなた 何 こそ あなたが・する の ある か
 「あなたは何をしているのか」
- チウタリ アナクネ ピリカ ウチャココ チキ ハウ エシタパン ネ。
 ciutari anakne pirka ucakoko ci=ki haw estap an ne.
 私たち は 良い 話し合い 私たちが・する の こそ ある よ
 「私たちはよい話し合いをした」
- アヌタリ アナク チセ アナシ。
 anutari anak cise an=asi.
 私たち は 家 私たちが・建てる
 「私たちは家を建てる」
- エチウタリ ネコン エチキ カン
 eciutari nekon eci=ki kan
 あなたたち どう あなたたちが・する て
 エチアㇿキ ア ル タパナ？
 eci=arki a ru tap an a?
 あなたたちが・来る た の こそ ある か
 「あなたたちはどうやって来たのか」

人称代名詞

人称代名詞は日本語の「私」や「あなた」にあたるものです。ただし、アイヌ語は人称接辞を用いて人称の関係を表現しますので、人称代名詞は強調など限られた場合にしか用いられません。

人称代名詞を用いると、主語や目的語を強調する表現となります（例文参照）。以下に十勝方言の人称代名詞のリストをあげておきます。

| | 単数 | 複数 |
|------|------------------------------|--|
| 1 人称 | クアニ kuani | チオカイ ciokay, チウタリ ciutari (除外的) アノカイ anokay, アヌタリ anutari (包括的) |
| 2 人称 | エアニ eani アノカイ anokay (敬称) | エチオカイ eciokay, エチウタリ eciutari |
| 3 人称 | アニヒ anihi | オカイ okay |

ステップ19 動詞の単数・複数1

(例文)

1. キム タ クオマナクス ユク オマナン シリ クヌカラ。
 kim ta ku=oman akus yuk omanan sir ku=nukar.
 山 に 私が・行く と シカ 歩き回る の 私が・見る
 「山へ行くと、シカ（一頭）が歩き回る様子を私は見た」
2. エキムン クオマナクス ユク パイエカイ シリ クヌカラ。
 ekimun ku=oman akus yuk payekay sir ku=nukar.
 山へ 私が・行く と シカ 歩き回る の 私が・見る
 「山へ行くと、シカ（二頭以上）が歩き回る様子を私は見た」
3. カニツ アシ ワ カエカ。
 kanit asi wa kaeka.
 糸より台 立てる て 糸を作る
 「糸より台を立てて糸をつむぎなさい」
4. ニ ロシキ ワ シンパイ ワッカ オカキシマ。
 ni roski wa simpuy wakka okakisma.
 木 立てる て 泉 水 つかまえる
 「木を立てて泉の水をためなさい」

単数と複数で形が全く異なる動詞

(初級ステップ25参照)

アイヌ語の動詞の一部には、単数と複数の区別をもつものがあります。単数・複数の区別をもつ動詞のなかには、単数形と複数形で全く形の異なるものがあります。このようなタイプの動詞は、数は少ないのですが基本的な動詞が多く、個々に記憶する必要があります。

以下に自動詞の例をあげます。自動詞の複数形は主語が複数であることを表します(例文1,2)。

ア a (単数) / ロク rok (複数) 「～が座る」
 アン an (単数) / オカイ okay (複数) 「～がある、いる」
 アシ as (単数) / ロシキ roski (複数) 「～が立つ」
 エク ek (単数) / アラキ arki (複数) 「～が来る」
 オマン oman (単数) / パイエ paye (複数) 「～が行く」
 オマナン omanan (単数) / パイエカイ payekay (複数) 「～が歩き回る」

以下に他動詞の例をあげます。なお、基本的に他動詞の複数形は目的語が複数であることを表します(例文)。

アシ asi (単数) / ロシキ roski (複数) 「～が～を立てる」
 ウク uk (単数) / ウイナ uyna (複数) 「～が～を取る」

ステップ21 動詞の単数・複数3

(例文)

1. タン ト レラ ユプケ カシパ ワ
 tan to rera yupke kaspā wa
 この 日 風 激しい すぎる て
 アパ オプニ カン イキ コロ アン。
 apa opuni kan iki kor an.
 戸 はね上がる て する て いる
 「今日は風が激しくて、戸が(何度も)はね上がる」
2. アイヌ オピッタ オブンパ。
 aynu opitta opunpa.
 人間 すべて 起き上る
 「人々はみな起き上がった」
3. タアン イタ アレンコ トウイエ。
 taan ita arenko tuye.
 この 板 半分 切る
 「(その人は) この板を半分に切った」
4. ニ アトウイパ ワ セツ アカラ。
 ni a=tuypa wa set a=kar.
 木 私たちが・切る て 檻 私たちが・つくる
 「私たちは木を切ってクマの檻をこしらえた」

母音で単数形、パ -pa で複数形がつくられる動詞

動詞のなかには動詞の語幹の後ろに母音をつけて単数形をつくるものがあります。そのような動詞では、語幹の後ろにパ -pa をつけて複数形がつくられます。このタイプの動詞は比較的多数みられます。自動詞の例を以下にあげます。

オプニ opun-i (単数) / オブンパ opun-pa (複数) 「～が起きる」
 オシピ osip-i (単数) / オシツパ osip-pa (複数) 「～が帰る」
 オユプ oyup-u (単数) / オユツパ oyup-pa (複数) 「～が走る」

他動詞の例を以下にあげます。なお、他動詞の複数形は、目的語の数を表すのが一般的です。

トウイエ tuy-e (単数) / トウイパ tuy-pa (複数) 「～が～を切る」
 スイエ suy-e (単数) / スイパ suy-pa (複数) 「～が～を揺らす」
 レウエ rew-e (単数) / レウパ rew-pa (複数) 「～が～を曲げる」
 ペレ per-e (単数) / ペレパ per-pa (複数) 「～が～を割る」

ステップ 22 自動詞・他動詞・複他動詞

(例文)

1. エルムン アフン。
erumun ahun.
ネズミ 入る
「ネズミが入る」
2. トオン エカチ オシッテス テク ハチリ。
toon ekaci osittesu tek hacir.
あの 子供 滑る て 倒れる
「あの子は足を滑らせて倒れた」
3. トオン シタ カム エクパ ル アン。
toon sita kam ekupa ru an.
あの 犬 肉 くわえる の ある
「あの犬は肉をくわえている」
4. アマメポンチカプ ウエカラパ ワ ネプ カイ エウマレ ワ エ。
amameponcikap uekarpa wa nep kay eumare wa e.
スズメ 集る て 何 か 集める て 食べる
「スズメが集まって何かを集めて食べた」
5. エカチ トペ エレ。
ekaci tope ere.
子供 乳 食べさせる
「(母親が) 子供にミルクを飲ませる」

自動詞 (1 項動詞)

これまでのステップでも、自動詞や他動詞という用語が出てきました。これらの動詞の違いは、いくつの名詞と結びつくかという点にあります。動詞が名詞と結びつくことを、「動詞が名詞を取る」と表現することもあります。自動詞は1つの名詞と結びつき、この名詞が主語（動作の主体となるもの）になります。

エルムン アフン。erumun ahun. 「ネズミが入る」

この例のように、自動詞の前には空の箱が1つあって「が入る」のような格好になっているとイメージしてください。この箱には主語にあたる名詞が入ります。このように、自動詞は1つの名詞と結びつくことから、「1項動詞」と呼ばれることもあります。

他動詞 (2 項動詞)

他動詞は主語の他にもう1つの名詞と結びつき、これが目的語（動作の対象となるもの）になります。

シタ カム エクパ。sita kam ekupa. 「犬が肉をくわえる」

この例のように、他動詞の前には、主語の箱に加えてもうひとつ目的語の箱があるとイメージしてください。他動詞は2つの名詞と結びつくことから、「2項動詞」と呼ばれることもあります。アイヌ語では、自動詞と他動詞の区別が厳密におこなわれます。

日本語では、主語に「～は、～が」を、目的語は「～を、～に」といった格助詞が用いられますが、アイヌ語では用いられません。名詞は主語・目的語の順に並べられるのが一般的ですが、目的語・主語の順に並べられることもあります。

複他動詞 (3 項動詞)

他動詞のなかには、目的語にあたる名詞を2つ取る動詞があります。これを複他動詞 (3 項動詞) と呼びます。

エカチ トペ エレ。ekaci tope ere. 「(母親が) 子供にミルクを飲ませる」

ステップ 23 「たくさん」「少し」副詞

(例文)

- ニ レヘ ポロンノ アン。
ni rehe poronno an.
木 名前 たくさん ある
「木の名前はたくさんある」
- ルヤンペ ポンノ ルイ。
ruyanpe ponno ruy.
雨 少し 降る
「雨が少し降る」
- トオン ニ テイネ クス ソモ ウフイ ナ。
toon ni teyne kus somo uhuy na.
あの 木 濡れる ので (否定) 燃える よ
「あの木は濡れているので燃えないよ」
- イニナフ アリ チポロ ポツチェカ。
ininap ari cipor potceka.
すりこぎ で 筋子 潰す
「(その人は) すりこぎで筋子をつぶした」

副詞のはたらき

このステップでは主として副詞を使った表現を取り上げます。副詞とは日本語の「たくさんある」「とてもはやい」などのように、動詞の前に置かれて動作・状態のあり方を説明する言葉です。

- 副詞のなかには、動詞にノ -no という形をつけて規則的につくられるものがあります(例：ポン pon 「～が小さい」→ポンノ ponno 「少し」、ピリカ pirka 「～が良い」→ピリカノ 「良く」、トウイマ tuyma 「～が遠い」→トウイマノ tuymano 「遠く」)。
- 「…しない」という否定の表現にはソモ somo という副詞が、「…するな」という禁止の表現にはイテツケ itekke という副詞が用いられます(ステップ 11 を参照)。
- 副詞のなかには、名詞の後に置かれて「～に、～で」のような格助詞にあたる役割をもつものがあります(例文 4)。このような副詞は後置副詞と呼ばれます。

ステップ 24 位置関係の表現 1

(例文)

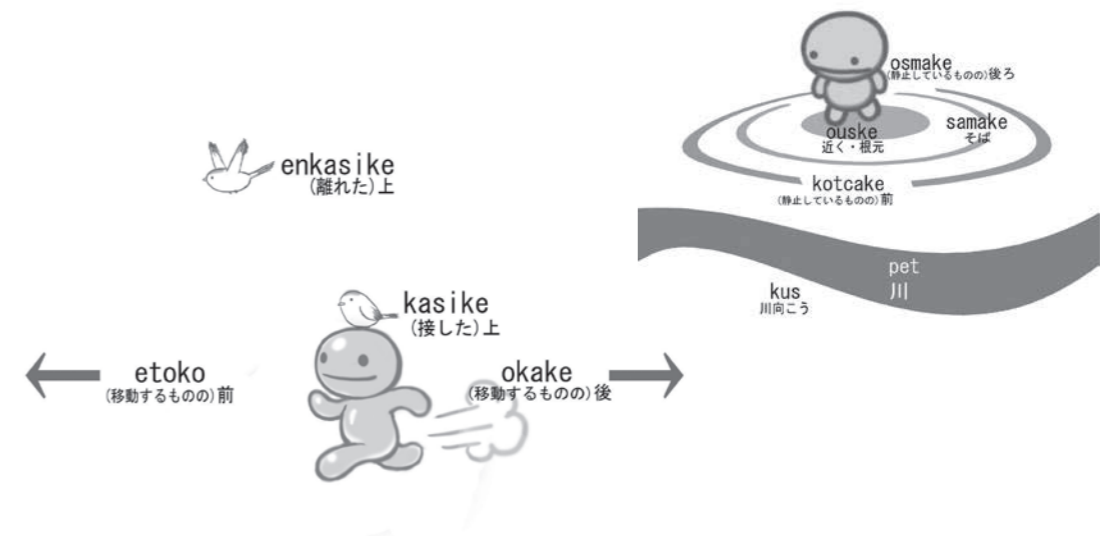
1. テエタ アナクネ アシフル エトコ タ ポロ エカシヌサ アン。
 teeta anakne asinru etoko ta poro ekasnusa an.
 昔 は 便所 先の方 に 大きい 先祖の幣柵 ある
 「昔は便所の先の方に大きな先祖の幣柵があった」
2. チセ コパケン サパン。
 cise kopak en sap=an.
 家 方向 へ 下る・私たちが
 「家の方向へ私たちは下った」
3. シリアパ コロ オロ ペカ ルヤンペ アフン。
 sir'apa kor or peka ruyanpe ahun.
 雨漏りする と ところ に 雨 入る
 「雨漏りすると、そのところから雨水が入る」
4. ペトレン クラン テク
 pet or en ku=ran tek
 川 ところ へ 私が・下る て
 オロ タ イヨッタ オオ ヒ ペカ クマ。
 oro ta iyotta oo hi peka ku=ma.
 ところ で 最も 深い ところ で 私が・泳ぐ
 「私は川へ下って、その一番深いところで泳いだ」

位置関係を表す名詞

「前」「後」のような位置関係を表す名詞を位置名詞といいます。位置名詞には短形と長形との区別と呼ばれる二種類の形があります。以下に例をあげます。

エトク etok (短形) / エトコ etoko (長形) 「(動いているものの) 前」
 コッチャ kotca (短形) / コッチャケ kotcake (長形) 「(静止しているものの) 前」
 オカ oka (短形) / オカケ okake (長形) 「(動いているものの) 後」
 オシマク osmak (短形) / オシマケ osmake (長形) 「(静止しているものの) 後」
 オロ or (短形) / オロ oro (長形) 「ところ」

一般に、短形は基準となる名詞との関係が密接な場合に使用されます。また、長形は基準となる名詞が省略されている場合などに使用されます。ただし、短形と長形の区別についてはまだ十分に明らかではない面もあります。



単語を覚えよう3 ～動作を表す言葉1～

| | | | |
|-----|------|--------|----------|
| 1. | シノッ | sinot | 「～が遊ぶ」 |
| 2. | マ | ma | 「～が泳ぐ」 |
| 3. | アブカシ | apkas | 「～が歩く」 |
| 4. | オユプ | oyupu | 「～が走る」 |
| 5. | モコロ | mokor | 「～が眠る」 |
| 6. | モイナク | moynak | 「～が目覚める」 |
| 7. | マツケ | makke | 「～が開く」 |
| 8. | アシ | as | 「～が閉まる」 |
| 9. | アフン | ahun | 「～が入る」 |
| 10. | エトウク | etuk | 「～が突き出る」 |

さまざまなイポロセ3

静内・十勝地方

◇新年の祈り

アシリパノミ アンキ シリ ネ ナ。
asirpanomi an=ki siri ne na.
新年の祈りをいたしますよ

ウロクテ カムイ ウタリ
urokte kamuy utari
いらっしゃいます神々よ、

アムキリ ワ ウンコレ キ ヤン！
amkir wa un=kore ki yan!
ご承知ください。

クコロ ウタリ ピリカ モンライケ キ クニネ、
ku=kor utari pirka monrayke ki kunine,
私の親族がつつがなく働けますように、

セレマク ウシ ワ ウンコレ キ ヤン！
sermak us wa un=kore ki yan!
お見守りください。

(語り手：葛野辰次郎さん)

☆この言葉を掲載するにあたり『平成11年度アイヌ語ラジオ講座テキスト』vol.4を参照しました。

◇芽室太 船を下ろす時の歌

アリ アン ペ シタ メナスン テレケ
ari an pe sta menas un terke
これこそまさに 東の踊り

メナスン リムセ オカイ ペ ネ ネ
menas un rimse okay pe ne ne.
東の舞 まことだぞ

アンホーホイ ハホイ！
an ho hoy ha hoy!

☆この歌を収録するにあたり、『「東北北海道のアイヌ古謡録音テープ」の内容調査研究』アイヌ文化研究会（「アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第8号下巻資料編」財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構2009年）を参照しました。

ステップ 25 位置関係の表現 2

(例文)

1. エンコパケン パテク スプヤ エク。
 en=kopak en patek supuya ek.
 私の・方向 へ ばかり 煙 来る
 「私の方にばかり煙が来る」

2. イコツチャケ タ エクロク ニシ アン。
 i=kotcake ta ekurok nis an.
 私たちの・前 に 黒い 雲 ある
 「私たちの前に黒い雲がある」

3. エオシマケ タ ネン カイ シヌイナク。
 e=osmake ta nen kay sinuynak.
 あなたの・後 に 誰 か 隠れる
 「あなたの後ろに誰か隠れた」

4. エチオカケ タ クカラ ワ クアマ ナ。
 eci=okake ta ku=kar wa ku=ama na.
 あなたたちの・後 で 私が・作る て 私が・置く よ
 「あなたたちがいなくなった後で私が（着物を）仕上げておくよ」

位置名詞の人称

このステップでは、人称接辞と位置名詞の組み合わせについて説明します。位置名詞の基準点を表す場合には、目的格人称接辞が用いられます。

- (1)「私の前」などと表現する場合には、位置名詞の前に**エン en**＝「私を(に)」をつけます(例 1)。
- (2)聞き手を含めずに「私たちの前」などと表現する場合には、他動詞の前に**ウン un**＝「私たちを(に)」をつけます。また、聞き手を含めて「私たちの前」などと表現する場合には、他動詞の前に**イ i**＝「私たちを(に)」をつけます(例文 2)。
- (3)「あなたの前」などと表現する場合には、他動詞の前に**エ e**＝「あなたを(に)」をつけます(例文 3)。
- (4)「あなたたちの前」などと表現する場合には、他動詞の前に**エチ eci**＝「あなたたちを(に)」をつけます(例文 4)。

ステップ 26 場所の表現

(例文)

1. タアン カムイ オレン エシタプ
 taan kamuy or en estap
 この 神 ところ へこそ
 パスイ クトゥリ ル アン ネ。
 pasuy ku=turi ru an ne.
 奉酒箸 私が・伸ばす の ある よ
 「この神のところへ私は奉酒箸を伸ばしているのだ」
2. トオン ペッ オッ タ ネン カイ マ コロ アン。
 toon pet or ta nen kay ma kor an.
 あの 川 ところ で 誰 か 泳ぐ て いる
 「あの川のところで誰かが泳いでいる」
3. オヤ コタン ウン イタク ネコン ネ?
 oya kotan un itak nekon ne?
 他の 村 ある 言葉 どう である
 「他の村の言葉ではどう言うのか」
4. タアン オロ ペッ クシ ル ネ。
 taan or pet kus ru ne.
 この ところ 川 横切る の である
 「この場所を川（の水）が通ったのだ」

場所の表現

アイヌ語の格助詞は、位置名詞の後につけられます。したがって、「人」や「神」、「川」のような普通名詞には、格助詞を直接つけることはできません。そこで、普通名詞に格助詞をつける場合には、位置名詞を用いて、普通名詞+位置名詞+格助詞のように表現します（例文 1, 2）。

場所を目的語にする動詞

動詞の中には「前」、「後」のような場所を表す名詞を目的語としてとる動詞があります。その多くは対象が存在することを表す動詞です。例としては、**ウン un**「～が～にある、いる」、**オマ oma**「～が～に入る」、**クシ kus**「～が～を横切る」などの動詞があります。

ステップ 27 所有の表現 1

(例文)

1. スプヤ ユヅケ ワ クシキ アラカ フマン。
 supuya yupke wa ku=siki arka hum an.
 煙 激しい て 私の・目 痛い 感覚 ある
 「煙が激しくて私の目が痛い」
2. トオン エカチ ハポホ テケヘ エタイエ カン オマン コロ アン。
 toon ekaci hapoho tekehe etaye kan oman kor an.
 あの 子供 母親 手 引く て 行く て いる
 「あの子は母親の手を引っ張りながら歩いて行く」
3. エパケ レタン ル アン。
 e=pake retar ru an.
 あなたの・頭 白い の ある
 「あなたの頭（の髪）は白い」
4. チヅ パケヘ タ モナ。
 cip pakehe ta mona.
 舟 頭 に 座る
 「(その人は) 舟の先端に座った」

名詞の所属形と概念形

アイヌ語の名詞には概念形と所属形の二種類があります。概念形は一般的・抽象的な意味で用いられ、所属形は「AのB」という所有の表現に用いられます。

(1) 所有の表現は「人称接辞＋名詞所属形」または「名詞＋名詞所属形」のように言葉を並べます。

(2) 母音で終わる名詞語幹の場合、所属形は以下の方法で作られます。

概念形
 概念形＋hV (V: 母音)

(3) 子音で終わる名詞語幹の場合、所属形は以下の方法で作られます。

概念形＋所属形接尾辞
 概念形＋所属形接尾辞＋hV

(4) 所属形接尾辞はイiであることが多いですが、アa, ウu, エe, オoのこともあります。また、ウw, イyで終わる語幹の場合、所属形接尾辞はエeとなります(-hVのVは、最後の母音と同じ母音が現れます)。

ステップ 28 所有の表現 2

(例文)

1. クチキリ トウクンネ フマン。

ku=cikiri tukunne hum an.

私の・足 痺れる 感覚 ある

「私の足がしびれた」

2. トオン クル チキリヒ トウナシ ル アン。

toon kur cikirihi tunas ru an.

あの 人 足 早い の ある

「あの人は足が速い」

3. ネコナン クシ タブ アコロ ポン エペレ

nekon an kus tap a=kor pon eper

どう ある のでこそ 私たちが・持つ 小さい 子グマ

ソモ イペ ル アナ?

somo ipe ru an a?

(否定) 食べる の ある か

「どうして私たちの子グマは物を食べないのか」

4. タアンタ アン イタンキ ネン コロ イタンキ タパナ?

taanta an itanki nen kor itanki tap an a?

ここに ある 御椀 誰 持つ 御椀 こそ ある か

「ここにある御椀は誰の御椀なのか」

所有の表現

「AのB」という所有の表現には、以下の二通りのパターンがあります。

(1)「人称接辞+名詞所属形」または「名詞+名詞所属形」を用いた所有の表現は、身体部位などのように、相手に譲り渡すことが不可能な場合に用いられます(例文 1, 2)。

(2)同じ所有の表現であっても、飼育動物など、相手に譲渡することが可能な場合には、コロ kor「～が～を持つ」という動詞を用いて、「人称接辞+ kor + 名詞」または「名詞+ kor + 名詞(概念形)」と表現します(例文 3, 4)。

ステップ 29 親族関係の表現

(例文)

- クミチヒ アナクネ モンライケ クス クンナノ エソノマン。
ku=micihi anakne monrayke kus kunnano eson oman.
私の・父親 は 仕事をする ために 朝 外へ 行く
「私の父親は仕事をするために朝から外出した」
- タアン エペレ ハポホ ソモ クヌカラ。
taan eper hapoho somo ku=nukar.
この 子グマ 母親 (否定) 私が・見る
「私はこの子グマの母親を見なかった」
- クコルポ エネチウカ ワ モナ。
ku=korupo en=eciwka wa mona.
私の・兄 私を・待つ て 座る
「私の兄が座って私を待っていた」
- フチ、 エネチャココ ワ エンコレ。
huci, en=ecakoko wa en=kore.
おばあさん 私に・教える て 私に・くれる
「おばあさん、私に（アイヌ語を）教えてください」

親族関係の表現

親族関係の表現には、「人称接辞＋名詞所属形」または「名詞＋名詞所属形」が用いられる場合があります（例文 1, 2）。一方、「人称接辞＋kor＋名詞」または「名詞＋kor＋名詞」が用いられる場合もあります（例文 3）。

親族関係の表現には方言差も大きく、どのように使えばいいのか不明な場合もあります。

呼びかけの表現

相手に呼びかける場合は、人称接辞が用いられない傾向がみられます（例文 4）が、詳細は不明です。

ステップ 30 形式名詞

(例文)

- ホシカヌマン クエカ ル ネ。
 hoskanuman ku=ek a ru ne.
 おとつゐ 私が・来る た の である
 「私はおとつゐ来たのだ」
- イメル アツ シラン。
 imeru at sir an.
 稲光 たつ 様子 ある
 「雷が光る」
- エチキリ アカ ハウ ネ チク トウリ ワ ポンノ ララパ。
 e=cikiri arka haw ne cik turi wa ponno rarpa.
 あなたの・足 痛い の である なら 伸ばす て 少し 揉む
 「あなたの足が痛いのなら、伸ばして少し揉みなさい」
- タアン イミ ポンノ イロンネ ワ パセ フマン。
 taan imi ponno ironne wa pase hum an.
 この 着物 少し 厚い て 重い 感覚 ある
 「この服は少し厚くて重い」

形式名詞の用法

例文の中のル ru, シリ sir, ハウ haw, フム hum は、いずれも日本語の「の」「こと」などにあたる意味をあらわす言葉です。これらの言葉は形式名詞（または名詞化辞）とよばれます。

- (1) ル ru は話し手が確信している事柄に用いられます(例文 1)。
- (2) シリ sir は視覚によって認識された事柄に用いられます(例文 2)。
- (3) ハウ haw は発言などによって認識された事柄に用いられます(例文 3)。
- (4) フム hum は物音や身体感覚などによって認識された事柄に用いられます(例文 4)。

形式名詞と動詞の組み合わせ

形式名詞はネ ne「～が～である」という動詞と組み合わせられて、日本語の「のだ」「ことだ」にあたる表現をつくります(例文 1, 3)。一方、形式名詞とアン an(複数形オカイ okay)「～がある、いる」を組み合わせると、感嘆の表現になります(例文 2, 4)。

ステップ 31 連体修飾表現

(例文)

1. ソイ タ アン クル ネプ カイ ヌ ルスイ コトム アン。
soy ta an kur nep kay nu rusuy kotom an.
外 に いる 人 何 か 聞く したい ように いる
「外にいる人は何かを尋ねたいようだ」
2. タアン シタ アナク イラマンテ エアシカイ シタ ネ。
taan sita anak iramante easkay sita ne.
この 犬 は 狩りをする 上手である 犬 である
「この犬は狩りの上手な犬だ」
3. タアン カムイ アナクネ クウク ア カムイ エシタパン ネ。
taan kamuy anakne ku=uk a kamuy estap an ne.
この クマ は 私が・とる た クマこそ ある よ
「このクマは私が仕留めたクマだ」
4. エソン クオマン ワ クサツケ ロク ペ チセ オロ クオ。
eson ku=oman wa ku=satke rok pe cise or ku=o.
外へ 私が・行く て 私が・乾かす た もの 家 中 私が・入れる
「私は外へ出て、乾していたものを家の中に入れた」
5. タアン エカチ アナクネ ミチヒ ネプコン アン エカチ ネ。
taan ekaci anakne micihi nepkon an ekaci ne.
この 子供 は 父親 のように ある 子供 である
「この子は父親にそっくりな子だ」

連体修飾表現

ある単語や句が名詞を修飾する構造を連体修飾節といいます。

- (1) アイヌ語の連体修飾節は、日本語と同じように、修飾を受ける名詞の前に置かれます。
- (2) 修飾を受ける名詞には、本来の文の主語に相当するもの(例文 1, 2)、目的語に相当するもの(例文 3, 4)、所有者に相当するもの(例文 5)などの種類があります。

ステップ 32 「この」「その」「あの」連体詞

(例文)

1. シネ フチ エク コロ アン。
sine huci ek kor an.
一人の おばあさん 来る て いる
「一人のおばあさんが来つつある」
2. タアン ミカン ルルコロ フマン。
taan MIKAN rurkor hum an.
この みかん 甘い 感覚 ある
「このみかんは甘い」
3. タン パ スイ トオン クル トイタ コロ アン。
tan pa suy toon kur toyta kor an.
この 年 また あの 人 畑を耕す て いる
「今年またあの人は畑を耕している」
4. ネアン コタン シッカマ ヤナニ。
nean kotan sikkama yan ani.
その 村 守る なさい よ
「その村を守りなさい」
5. イキア カムイ キラ ワ エク。
ikia kamuy kira wa ek.
その クマ 逃げる て 来る
「そのクマは逃げてきた」

連体詞を用いた表現

連体詞は日本語の「この、その」や「2つの」のように、名詞の前に置かれて位置や数などの情報を付け加える言葉です。連体詞には数を表すもの（「1つの」「2つの」）や空間を指示するもの（「この」「あの」）、前に出てきた話題を指示するもの（「その」）などがあります。

- (1) 数を表す連体詞には、シネ sine 「1つの、1人の」、トゥ tu 「2つの、2人の」、レ re 「3つの、3人の」などがあります(例文1)。詳しくは初級ステップ23を参照してください。
- (2) 空間を指示する連体詞には、タアン taan(複数形はタアカイ taakay)「この(自分から近い位置にあるもの)」、トオン toon(複数形はトオカイ tookay)「あの(自分から遠い位置にあるもの)」などがあります(例文2,3)。なお、時間を指示する場合には、タン tan 「この」が用いられます(例文3)。
- (3) 前に出てきた話題を指示する連体詞には、ネアン nean(複数形はネオカイ neokay)「その」、イキア ikia(複数形はイキロク ikirok)「その、あの」などがあります(例文4,5)。

単語を覚えよう 4 ～動作を表す言葉 2～

| | | | |
|-----|------|--------|-----------|
| 1. | コロ | kor | 「～が～を持つ」 |
| 2. | ヌカラ | nukar | 「～が～を見る」 |
| 3. | ヌ | nu | 「～が～を聞く」 |
| 4. | エ | e | 「～が～を食べる」 |
| 5. | ク | ku | 「～が～を飲む」 |
| 6. | ミ | mi | 「～が～を着る」 |
| 7. | マカ | maka | 「～が～を開ける」 |
| 8. | セシケ | seske | 「～が～を閉める」 |
| 9. | アフンケ | ahunke | 「～が～を入れる」 |
| 10. | サンケ | sanke | 「～が～を出す」 |

さまざまなイポロセ 4

◇人称接辞の歌（「ドレミの歌」の節で）

クは私の ku= エはあなたの e= eci（エチ）=あなたたち
 ci=（チ）はてまえども =as（アシ）は自動詞に a=は一般に
 =an（アン）は敬称も en=（エン）un=（ウン）e=（エ）eci=（エチ）i=（イ）

☆歌って人称接辞の役割を覚えてしまいましょう。（作成：北原次郎太）

| | | | |
|----|------|------------|--|
| ク | ku= | 1人称単数主格 | 動詞について「私は、私が」 名詞について「私の」 |
| エ | e= | 2人称単数主格 | 動詞について「君は、君が」 名詞について「君たちの」 |
| エチ | eci= | 2人称複数主格 | 動詞について「君たちは、君たちが」 名詞について「君たちの」 |
| チ | ci= | 除外的1人称複数主格 | 他動詞について 「(相手を含まない) 私たちは、私たちが」 名詞について「私たちの」 |
| アシ | =as | 除外的1人称複数主格 | 自動詞について 「(相手を含まない) 私たちは、私たちが」 |
| ア | a= | 不定人称主格 | 不定人称主格 他動詞について 「(相手を含む) 私たちは、私たちが」 「一般に人は、人が」 「(敬称表現の際に) あなたは、あなたが」 名詞について「(相手を含む) 私たちの」 |
| アン | =an | 不定人称主格 | 自動詞について 「(相手を含む) 私たちは、私たちが」 「一般に人は、人が」 |
| エン | en= | 1人称単数目的格 | 他動詞について「私に、私を」 |
| ウン | un= | 1人称複数目的格 | 他動詞について「私たちに、私たちを」 |
| エ | e= | 2人称単数目的格 | 他動詞について「君に、君を」 |
| エチ | eci= | 2人称複数目的格 | 他動詞について「君たちに、君たちを」 |
| イ | i= | 不定人称目的格 | 不定人称目的格 他動詞について 「(相手を含む) 私たちに、私たちを」 「人に、人を」「あなたに、あなたを」 |

ステップ 33 「～へ」「～から」格助詞

(例文)

- イテッケ ピッキ チセ オレン アフンケ ヤン。
 itekke pikki cise or en ahunke yan.
 (禁止) カエル 家 中 へ 入れる なさい
 「カエルを家の中へ入れるな」
- パシクル オパシ エク テク トオン ニ カ タ モナ。
 paskur opasi ek tek toon ni ka ta mona.
 カラス 川下から 来る て あの 木 上 に 止まる
 「カラスが川下から来てあの木の上に止まった」
- ニタイ トウム ペカ ポロンノ スマ アン。
 nitay tum peka poronno suma an.
 林 中 に たくさん 石 ある
 「林の中にたくさん石がある」
- タアン チェプ ペツパ ワ
 taan cep petpa wa
 この 魚 裂く て
 ポネヘ オロ ワ トウプ ネ カラ。
 ponehe or wa tup ne kar.
 骨 ところ から 二つ に つくる
 「(その人は)この魚を裂いて、骨のところから二つにした」

格助詞を用いた表現

日本語の「て、に、を、は」のように、名詞の後に置かれてその名詞の文法的な役割を示す言葉を格助詞(後置詞)といいます。主な格助詞を以下にあげます(ステップ 23 で説明した後置副詞にあたる形も含めてあります)。

| | | |
|----|------|---------------|
| タ | ta | ～に、～で(場所・到着点) |
| エン | en | ～へ(方向) |
| ペカ | peka | ～で、～を(広い場所) |
| ワ | wa | ～から(起点) |
| ネ | ne | ～として、～に |

なお、格助詞に相当する役割をもつ言葉として、後置副詞(ステップ 23 参照)があります。主な後置副詞を以下にあげます。

| | | |
|------|--------|-------------------|
| トウラシ | turasi | ～に沿って上流へ、～に沿って下流へ |
| エソロ | esoro | ～に沿って下へ |
| オシ | osi | ～の後から |
| トウラ | tura | ～と共に |
| アリ | ari | ～で、～を用いて(道具・手段) |

ステップ 34 「～も」「～だけ」 副助詞

(例文)

1. アイヌ アナクネ ウェン プリ コロ ソモ キ。
 aynu anakne wen puri kor somo ki.
 人間 は 悪い 行い 持つ (否定) する
 「人間は悪いおこないをしない」

2. パシクル アナク ネプ エネ ネ ヤッカイ エラマン ワ
 paskur anak nep ene ne yakkay eraman wa
 カラス は 何 でも である ても 理解する て
 ハウエアシ カン エク。
 haweas kan ek.
 声を出す ながら 来る
 「カラスは何でもわかって、鳴声を出しながら来る」

3. レラ マウ パテック ネ テック レラ ユプケ ソモ キ。
 rera maw patek ne tek rera yupke somo ki.
 風 気配 ばかり である て 風 激しい (否定) する
 「風の気配ばかりで風は強くない」

4. エカシノミ ポカイ クキ ナンコロ。
 ekasnomi pokay ku=ki nankor.
 男性の先祖供養 だけでも 私が・する だろう
 「(男性の) 先祖供養だけでも私はするつもりだ」

副助詞を用いた表現

日本語の「～も」「～だけ」のように、他の単語の後に置かれて、その単語を取り立てる役割をもつ言葉を副助詞といいます。主な副助詞としては以下のようになります。

| | | |
|---------|----------|-------------|
| アナク (ネ) | anak(ne) | ～は (主題) |
| エネ | ene | ～でも (例示) |
| カ | ka | ～も (追加) |
| パテック | patek | ～ばかり (限定) |
| パク (ノ) | pak(no) | ～まで (限度) |
| ポカイ | pokay | ～だけでも (限定) |
| タプ | tap | ～こそ (強調) |
| エタプ | etap | ～こそ (疑問の強調) |
| エシタプ | estap | ～こそ (説明の強調) |

ステップ 35 「…した」「これから…する」助動詞

(例文)

- クニペレパ ア ワ。
ku=niperpa a wa.
私が・薪割りする た よ
「私は薪割りをしたよ」
- ウパシ ポロ ワ ニテク カイ アワン。
upas poro wa nitek kay awan.
雪 大きい て 木の枝 折れる のだった
「雪がたくさん積って、木の枝が折れたのだ」
- エケウトウム ペケレ チカナクネ
e=kewtumu peker cik anakne
あなたの・心 澄む なら ば
エイコシテク パセ タスム ソモ エキ ナンコロ。
eikostek pase tasum somo e=ki nankor.
あまりに 重い 病気 (否定) あなたが・する だろう
「あなたの心が澄んでいるならばあまり大きな病気にはかからないだろう」
- ムン エイコシテク トウク カシパ クス エソン クオマン テク
mun eikostek tuk kaspā kus eson ku=oman tek
雑草 あまりに 伸びる すぎる ので 外へ 私が・行く て
クムンカラ。
ku=munkar.
私が・草を刈る
「雑草があまりに伸びすぎたので、私は外へ出て草刈りをした」
- アイヌ イタク クキ ルスイ。
aynu itak ku=ki rusuy.
アイヌ 言葉 私が・する したい
「私はアイヌ語を話したい」

助動詞を用いた表現

「…したい」「…できる」のように、動詞の後におかれて、時間、推量、意志、能力などの意味を表す言葉を助動詞といいます。主な助動詞としては、以下のようなものがあります。

| | | |
|-------|--------|-----------------|
| ア | a | …した (完了) |
| ロク | rok | …した (完了・複数形) |
| アワン | awan | …したのだった (事実の確認) |
| ニサ | nisa | …したばかりだ |
| オケレ | okere | …し終える |
| カン | kan | …するほど (程度) |
| カシパ | kaspa | …しすぎる |
| ナンコロ | nankor | …するだろう (推量) |
| ルスイ | rusuy | …したい (願望) |
| エアシカイ | easkay | …できる |
| エアイカプ | eaykap | …できない |
| コチャン | kocan | …するのを嫌がる |
| クン | kun | …するべきである |

なお、動詞と「…した」を表すア a を繰り返すことで「何度もする」「…し続ける」という意味を表すことができます。

カムイノミアナ カムイノミアナ
kamuynomi=an a kamuynomi=an a...
神を祭る・私たちが た 神を祭る・私たちが た
「私たちは何度も神を祭って」

ステップ 36 「…して」「…しながら」接続助詞 1

(例文)

1. タン ト チソッタ クアン ワ クケシペキ カン クアン。
 tan to cisotta ku=an wa ku=kespeki kan ku=an.
 この 日 家に 私が・いる て 私が・針仕事をする て 私が・いる
 「今日私は家にいて針仕事をしている」

2. ネン カイ チブ オ テク エクスン オマン コロ アン。
 nen kay cip o tek ekusun oman kor an.
 誰 か 舟 乗る て 対岸へ 行く て いる
 「誰かが舟に乗って川向かいへ行きつつある」

3. ルヤンペ ルイ アヒンネ ペツ ポロ。
 ruyanpe ruy ahinne pet poro.
 雨 降る て 川 大きくなる
 「雨が降り続いて川が増水した」

4. トオン シタ ネコナン クス メク カン
 toon sita nekon an kus mek kan
 あの 犬 どう ある ので 鳴く ながら
 オユプ シラナ？
 oyupu sir an a?
 走る 様子 ある か
 「あの犬はどのようにして鳴きながら走っているのか」

接続助詞を用いた表現 1

接続助詞とは、日本語の「…しながら」「…して」のように、前の文と後の文をつなぐ働きをもつ助詞です。接続助詞には前の文と後の文との時間的な関係（「～しながら…する」など）を表すものや、論理的な関係（「…したので…する」など）を表すものなどがあります。このステップでは、主として時間的な関係を表す接続助詞について取り上げます。

- (1) 時間的な関係を表す場合、前の文と後の文が前後関係（「…して…する」）にあるのか、それとも同時的な関係（「…しながら…する」）にあるのかによって表現が区別されます。
- (2) 「…して…する」のような時間的な前後関係を表す場合には、**ワ wa** 「…して」や**テク tek** 「…して」などが使われます。また、「…し続けてその結果」のような意味を表す場合には、**アヒンネ ahinne** 「…して」が用いられます(例文 1, 2, 3)。
- (3) 「…しながら…する」のような同時的な関係を表す場合は、**カン kan** 「…しながら」が用いられます(例文 4)。

ステップ 37 「…なので」「…すると」 接続助詞 2

(例文)

1. シタ エカ クス エカチ イシトマ。
 sita ek a kus ekaci isitoma.
 犬 来る た ので 子供 怖がる
 「犬が来たので子供が怖がる」
2. チブ パケヘ エキムン オマン クニネ アマ。
 cip pakehe ekimun oman kunine ama.
 舟 頭 山へ 行く ように 置く
 「舟の先端が山の方へ向かうように(舟を)置く」
3. タアカイ ペ エエ コチャン チク ピリカ。
 taakay pe e=e kocan cik pirka.
 これらの もの あなたが・食べる 嫌がる なら 良い
 「あなたはこれらのものを食べたくないのなら、別にかまわない」
4. トオン クル ホッケ アクス ナニ モコロ コロ アン。
 toon kur hokke akus nani mokor kor an.
 あの 人 横になると すぐに 眠る て いる
 「あの人は横になるとすぐに眠りつつある」
5. トオン エカチ ナア ポン コロカイ パケ ピリカ。
 toon ekaci naa pon korkay pake pirka.
 あの 子供 まだ 小さい けれども 頭 良い
 「あの子はまだ小さいけれども頭が良い」

接続助詞を用いた表現 2

このステップでは、主に「…するので(原因・理由)」、「…するために(目的)」、「…すると(条件)」、「…しても(譲歩)」、「…したところが(逆接)」などの表現に用いられる接続助詞について取り上げます。

- (1) 原因・理由の表現にはクス kus 「…するので」という接続助詞が用いられます。目的の表現にはクニ kuni、クニネ kunine 「…するために」のほか、クス kus 「…するために」などが用いられます(例文 1, 2)。
- (2) 条件の表現にはチク cik、コロ kor 「…したら、…すると」などが用いられます。また、「…したところ」のような意味を表す場合にはアクス akus という形が用いられます(例文 3, 4)。
- (3) 譲歩の表現にはヤッカイ yakkay 「…しても」、ヒケ hike 「…するのに」などが用いられます。また、逆接の表現にはコロカイ korkay 「…するけれども」が用いられます(例文 5)。

ステップ 38 「…するように」 接続助詞 3

(例文)

1. シッポ サンケ ワ オハウ オロ オ。
 sippo sanke wa ohaw or o.
塩 出す て おつゆ 中 入れる
 ピリカ アリ エヤイヌ パクノ オロ オ。
 pirka ari e=yaynu pakno or o.
良い と あなたが・考える まで 中 入れる
 「塩を出しておつゆの中に入れなさい。あなたがよいと思うまで中に入れなさい」

2. ピリカ ケウトウム エコロ コトム クイラム。
 pirka kewtum e=kor kotom ku=iramu.
良い 心 あなたが・持つ ように 私が・思う
 「あなたは良い心を持っているように私は思う」

3. ナ オアラ ペウレ クル ネ コロカイ
 na oar pewre kur ne korkay
まだ まったく 若い 人 である けれども
 エカシ エネ ネ ポコン アヌカラ。
 ekasi ene ne pokon a=nukar.
おじいさん でも である かのよう に 人が・見る
 「(あの人は) まだとても若い人なのにおじいさんみたいに見える」

4. イテッケ シノツ ノ モンライケ ヤン。
 itekke sinot no monrayke yan.
(禁止) 遊ぶ て 仕事をする なさい
 「遊ばずに仕事をしなさい」

5. ヤイエトウパレ ノ イペ ヤン。
 yayetupare no ipe yan.
気を付ける て 食べる なさい
 「気をつけて食べなさい」

接続助詞を用いた表現 3

このステップでは、主に「…するほどに(程度)」、「…するように(推定)」、「…するみたいに(比況)」、「…しないで(否定)」、「…する様子で(状態)」などの表現に用いられる接続助詞について取り上げます。

- (1) 程度の表現にはカン kan 「…するほどに」、パク pak, パクノ pakno 「…するまで」という接続助詞が用いられます(例文 1)。
- (2) 推定の表現にはコトム kotom 「…するように」などが用いられます(例文 2)。
- (3) 比況の表現にはポコン pokon 「…するかのよう に、…するみたいに」が用いられます(例文 3)。
- (4) 否定や禁止、状態の表現にはノ no 「…して」が用いられます(例文 3, 4)。

ステップ 39 接続助詞と動詞を組み合わせた表現 1

(例文)

1. トオン サポ エカチ カイ ワ オマナン コロ アン。
 toon sapo ekaci kay wa omanan kor an.
 あの 姉 子供 背負う て 歩き回る て いる
 「あの姉さんは子供を背負って歩きまわっている」
2. タネ チェブ ポロンノ クマ カン クアン ル ネ。
 tane cep poronno ku=ma kan ku=an ru ne.
 今 魚 たくさん 私が・焼く て 私が・いる の である
 「今、私は魚をたくさん焼いているのだ」
3. ムン ピシカン ペカ トウク ワ アン。
 mun piskan peka tuk wa an.
 雑草 周辺 に 伸びる て いる
 「雑草があちこちに生えている」
4. チカブ カイ アフブ、 ソオシマ カン イキ。
 cikap kay ahup, soosma kan iki.
 鳥 も 入る 外に出る て する
 「鳥も出たり入ったりしている」
5. サツ ワ ウフイ コトム アン チャテク エアマ ア？
 sat wa uhuy kotom an catek e=ama a?
 乾く て 燃える ように ある 柴 あなたが・置く た
 「あなたは乾いて燃えそうな柴を置いたのか」

接続助詞と補助動詞を用いた表現 1

接続助詞(ステップ 36 参照)と、アン an(複数形オカイ okay)「～がある、いる」またイキ iki「～が…する」などの動詞(補助動詞)が組み合わせられ、「…している」「…しつつある」などの意味が表されることがあります。なお、これらの表現においては、補助動詞にも人称接辞がつけられます。

- (1) 動作や変化の進行を表す表現には、コロ アン kor an(複数形コロ オカイ kor okay)「…しつつある」、カン アン kan an(複数形カン オカイ kan okay)「…しつつある」などが用いられます(例文 1, 2)。
- (2) 動作や変化の結果の状態を表す表現としてはワ アン wa an(複数形ワ wa okay)「…している、…してある」、テク アン tek an(複数形テク オカイ tek okay)「…している、…してある」、カン アン kan an(複数形カン オカイ kan okay)「…している、…してある」などが用いられます(例文 3)。
- (3) 反復を表す表現としてはカン イキ kan iki 「(何度も)…している」などが用いられます(例文 4)。
- (4) 推量の表現の表現にはコトム アン kotom an, コトム イキ kotom iki 「…するようだ」、比況の表現にはポコン アン pokon an 「…するかのようだ」などが用いられます(例文 5)。

ステップ 40 接続助詞と動詞を組み合わせた表現 2

(例文)

1. アペ ウク ワ インカラ ヤン。
ape uku wa inkar yan.
火 吹く て みる なさい
「火を吹いてみなさい」

2. タアン ニイペ タネ チ クス ケラアン ナンコロ クス
taan niipe tane ci kus keraan nankor kus
この 木の实 今 熟す ので おいしい だろう ので
エ ワ イヌ ヤン。
e wa inu yan.
食べる て みる なさい
「この木の実は熟していておいしいだろうから、食べてみなさい」

3. チブ シナ ワ アマ ヤン。
cip sina wa ama yan.
舟 縛る て 置く なさい
「舟を縛っておきなさい」

4. サラキ ウサ アモセカラ ワ イサム。
sarki usa a=mosekar wa isam.
葦 も 人が・刈る て 無い
「葦も刈られてしまった」

5. マキリ ルイケ ワ エンコレ。
makiri ruyke wa en=kore.
小刀 研ぐ て 私に・くれる
「小刀を研いでください」

接続助詞と補助動詞を用いた表現 2

前のステップで取り上げた接続助詞と補助動詞の組み合わせには、他にも様々なものがあります。

- (1)「…してみる」という表現には、ワ インカラ wa inkar 「…してみる」、ワ イヌ wa inu 「…してみる」が用いられます。「見てみる、作ってみる」などにはワ インカラ wa inkar を使い、そのほかの「触ってみる、聞いてみる、味わってみる」などにはワ イヌ wa inu を使います(例文 1, 2)。
- (2)「…しておく」という表現にはワ アマ wa ama が用いられます(例文 3)。
- (3)「…してしまう」という表現にはワ オケレ wa okere またはワ イサム wa isam が用いられます(例文 4)。
- (4)「…してくれる」という表現にはワ コレ wa kore が用いられます(例文 5)

単語を覚えよう5 ～程度を表す言葉～

| | | | |
|-----|--------|-----------|---------|
| 1. | ハウケノ | hawkeno | 「静かに」 |
| 2. | ユブケノ | yupkeno | 「激しく」 |
| 3. | トウナシノ | tunasno | 「急いで」 |
| 4. | ラッチノ | ratcino | 「ゆっくりと」 |
| 5. | ピリカノ | pirkano | 「きれいに」 |
| 6. | イヨッタ | iyotta | 「最も、一番」 |
| 7. | エクシコンナ | ekuskonna | 「急に」 |
| 8. | ソンノ | sonno | 「本当に」 |
| 9. | エイコシテク | eikostek | 「あまりに」 |
| 10. | オアラ | oar | 「全く」 |

さまざまなイポロセ5

十勝地方

◇芽室太のタップカ「踏み舞」

タネアナクネ ラカ イサム オンネ プクネ クス ンン
 tane anak raka isam onne p ku=ne kusu nnn
 今や何の甲斐もない年寄りとなりましたので

シクブ アイヌ ウタリ オツカイ シクブ ウタラ
 sikup aynu utari okkay sikup utar
 若い者たち 若い男たち

シクブ メノコ ウタラ エカッタラ コクシシノポ
 sikup menoko utar ekattar kokusisno po
 若い女たち 子供たちとともに

イワンケノポ ウオオンフウオ!
 iwankeno po uoo nn huo!
 達者で(暮らしすように)

クオンカミ ハウ エシタパン ナ。
 ku=onkami haw estap an na.
 私は拝礼するのです。

(語り手：高橋勝次郎さん)

☆語り手の高橋さんが、芽室太出身の小川エタイェクルというエカシのタップカを思い出して演じたものです。高橋さんがふだん演じていたタップカとは節が違いますが言葉運びは似ています。

☆この歌を収録するにあたり、『東北北海道のアイヌ古謡録音テープ』の内容調査研究』アイヌ文化研究会(「アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第8号下巻資料編」財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構2009年)を参照しました。

ステップ41 「…だよ」「…ですか」終助詞

(例文)

1. オハウ ケラアン ナ。 ポロンノ イペ ワ オシツパ ヤン。
ohaw keraan na. poronno ipe wa osippa yan.
おつゆ おいしい よ たくさん 食べる て 戻る なさい
「おつゆがおいしいよ。たくさん食べて帰りなさい」
2. チェブ ピリカノ クトウイパ ワ クアレ クス ピリカ ワ。
cep pirkanu ku=tuypa wa ku=are kus pirka wa.
魚 良く 私が・切る て 私が・置く ので 良い よ
「魚はよく切っておいたから大丈夫だよ」
3. エシンキ チク ホツケ アニ。
e=sinki cik hokke ani.
あなたが・疲れる なら 横になる なさい
「疲れているのなら横になりなさい」
4. ウコイタクアン ロク。
ukoytak=an rok.
話し合う・私たちが しよう
「会話をしましょう」
5. エホニ ソモ アヲカ ヤ?
e=honi somo arka ya?
あなたの・腹 (否定) 痛い か
「あなたのお腹は痛くないのか」

終助詞を用いた表現

文の最後におかれて、疑問や命令、確認などの意味を表す言葉を終助詞といいます。主な終助詞としては以下のようなものがあります。

| | | |
|----|-----|---------------------|
| ナ | na | … (する) ぞ (聞き手への促し) |
| ネ | ne | … (する) よ (説明) |
| ワ | wa | … (する) よ (質問に対する答え) |
| アニ | ani | …しなさい (言い聞かせ・念押し) |
| ヤン | yan | …しなさい (複数・丁寧な命令) |
| ロク | rok | …しよう (勧誘) |
| ヤ | ya | … (する) か (疑問) |
| ヘ | he | ～か (疑問) |

なお、ヤン yan 「…しなさい」は複数形の動詞とともに使われ、2人以上の相手への命令、または丁寧な命令を表します (例: アラキ ヤン arki yan 「来なさい」)。

ステップ 42 形式名詞による文末表現 1

(例文)

1. ウクラン ポンペツ オツ タ クレウシ アル エシタパン ネ。
 ukuran ponpet or ta ku=rewsi a ru estap an ne.
 昨晚 本別 ところに 私が・泊る た の こそ ある よ
 「昨晚、私は本別に泊ったのだ」

2. クミ ブ クエシタン シリ エシタパン ネ。
 ku=mi p ku=estan sir estap an ne.
 私が・着る もの 私が・探す の こそ ある よ
 「私は着物を探しているのだ」

3. イタンキ オシケン ナア イペ オ ル タパン ナ。
 itanki osken naa ipe o ru tap an na.
 御椀 中に まだ 食べ物 入る の こそ ある よ
 オピッタ エ オケレ。
 opitta e okere.
 すべて 食べる 終える
 「御椀の中にまだ食べ物が入っているぞ。全て食べてしまいなさい」

4. ウピシカン ワ ウエカラパ エカッタラ イララパ テク
 upiskan wa uekarpa ekattar irarapa tek
 周囲 から 集る 子供たち いたずらする て
 タアANTA アン サポ イルシカ ハウ タパン ナ。
 taanta an sapo iruska haw tap an na.
 ここに いる 姉 怒る の こそ ある よ
 「あちこちからから集った子供達があつたずらをして、ここにいる姉さんが怒ったのだ」

形式名詞を用いた文末表現 1

形式名詞(ステップ 30 参照)は様々な動詞や副助詞、終助詞などとともに、文末表現をつくります。

- (1) 聞き手に事情を説明する場合には、「形式名詞+エシタプ estap + アン an(複数形オカイ okay)+ネ ne」という表現が用いられることがあります(例文 1, 2)。
- (2) 聞き手に教え諭すような場合には、「形式名詞+タプ tap + アン an(複数形オカイ okay)+ナ na」という表現が用いられることがあります(例文 3, 4)。

ステップ 43 形式名詞による文末表現 2

(例文)

1. ネン アプシタ マカ アル タパナ?
 nen apusta maka a ru tap an a?
 誰 戸板 開ける た の こそ ある か
 「誰が戸板を開けたのか」
2. ネブ エエシタン シリ タパナ?
 nep e=estan sir tap an a?
 何 あなたが・探す の こそ ある か
 「あなたは何を探しているのか」
3. オウペカ エカチ エチャココ アル エタパン?
 oupeka ekaci e=cakoko a ru etap an?
 まっすぐに 子供 あなたが・教える た の こそ ある
 「あなたは正しく子供に教えたのか」
4. ネブ カイ アイェ ルスイ ハウ エタパン?
 nep kay a=ye rusuy haw etap an?
 何 か あなたが・言う したい の こそ ある
 「あなたは何かおっしゃりたいのですか」
5. エチプオ エラムシカレ ル ヘ?
 e=cip'o eramuskare ru he?
 あなたが・舟に乗る したことがない の か
 「あなたは舟に乗ったことがないのか」

形式名詞を用いた文末表現 2

前のステップで取り上げた形式名詞による文末表現は、他にも様々なものがあります。

- (1) 疑問詞を用いた疑問の表現の場合、「形式名詞+タブtap + アン an(複数形オカイ okay)+ ヤ ya(ア a)」が用いられることがあります(例文 1, 2)。
- (2) 「はい」「いいえ」で答える疑問の表現の場合、「形式名詞+エタプetap + アン an」が用いられることがあります(例文 3, 4)。
- (3) 「はい」「いいえ」で答える疑問の表現の場合、「形式名詞+ヘ he」が用いられることもあります(例文 5)。

ステップ 44 「…と」 引用の表現

(例文)

1. 「イテッケ オユプ」 アリ クハウキ ア クス
 “itekke oyupu” ari ku=hawki a kus
(禁止) 走る と 私が・言う た ので
 トオン エカチ アシ ル アン。
 toon ekaci as ru an.
あの 子供 立つ の ある
 「『走るな』と私が言ったので、あの子は立ち止まっている」

2. 「タン ト シネ イミ オピッタ クカラ」 アリ
 “tan to sine imi opitta ku=kar” ari
この 日 一つの 着物 すべて 私が・作る と
 エチヤイヌ ル ヘ？
 eci=yaynu ru he?
あなたたちが・考える の か
 「『今日は一枚の着物を仕上げよう』とあなたたちは考えているのか」

3. トオン カムイ アナク マツネ カムイ ネ ヤカイエ。
 toon kamuy anak matne kamuy ne yak a=ye.
あの クマ は 雌である クマ である と 人が・言う
 「あのクマは雌のクマであるようだ」

4. ニサッタ エエク クニ エイエ。
 nisatta e=ek kuni e=ye.
明日 あなたが・来る ように あなたが・言う
 「明日来るとあなたが言った」

引用の表現

誰かの言葉などを引用する表現には、様々なタイプがあります。

- (1) 相手の発言などをそのまま引用する場合には、**アリ ari** 「～と」 が用いられます(例文 1, 2)。
- (2) 相手の発言を間接的に引用する場合には、**ヤク yak** 「…すると」、**クニ kuni** 「…するように」などが用いられます(例文 3, 4)。

参考文献

文法解説の作成にあたっては、以下の文献を参考にしました。

- 浅井亨(1969)「アイヌ語の文法—アイヌ語石狩方言文法の概略—」アイヌ文化保存対策協議会(編)『アイヌ民族誌』下: 771-800. 第一法規.
- 知里真志保(1942)「アイヌ語法研究」『樺太庁博物館報告』4(4)(『知里真志保著作集』第3巻, 平凡社, 1973所収).
- 北海道ウタリ協会(編)(1994)『アコロイタクAKORITAK アイヌ語テキスト1』クルーズ.
- 金田一京助(1931)『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』第2巻. 東洋文庫.
- 金田一京助・知里真志保(1936)『アイヌ語法概説』岩波書店(『知里真志保著作集』第4巻, 平凡社, 1974所収).
- 切替英雄(1996)「アイヌ語十勝方言による昔話「島を引いて泳ぐオタスの少年の物語」の辞典と文法(1)」『北海学園大学学園論集』88: 123-286.
- 切替英雄(1998)「アイヌ語十勝方言による昔話「島を引いて泳ぐオタスの少年の物語」の辞典と文法(2)」『北海学園大学学園論集』98: 315-49.
- 中川裕・中本ムツ子(1997)『エクスプレス アイヌ語』白水社.
- 中川裕・中本ムツ子(2007)『カムイユカラでアイヌ語を学ぶ』白水社.
- 佐藤知己(2008)『アイヌ語文法の基礎』大学書林.
- 田村すず子(1988)「アイヌ語」亀井孝・河野六郎・千野栄一(編)『言語学大辞典』1: 6-94. 三省堂.

また、本書に収録した十勝方言の例文・単語の意味記述をおこなう際に、聞き取り調査による資料に加え、以下の文献を参考資料として利用しました。

- 服部四郎(編)(1964)『アイヌ語方言辞典』岩波書店.
- 北海道教育庁社会教育部文化課(編)(1987)『昭和61年度アイヌ民俗文化財調査報告書(アイヌ民俗調査VI)』北海道教育委員会.
- 北海道教育庁社会教育部文化課(編)(1988)『昭和62年度アイヌ民俗文化財調査報告書(アイヌ民俗調査VII)』北海道教育委員会.
- 本別町町史編纂委員会(編)(2002)『本別町生活文化誌』北海道本別町.
- 本別町教育委員会(編)(1989)『沢井トメノ 十勝本別分類アイヌ語辞典』本別町教育委員会.
- 澤井春美(2001)「アイヌ語十勝方言の親族名称について」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』7: 21-50.
- 澤井春美(2006)『アイヌ語十勝方言の基礎語彙集—本別町・沢井トメノのアイヌ語—』北海道立アイヌ民族文化研究センター.

中級アイヌ語 ー十勝ー

発行年月 2012年3月

発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 5階
TEL (011) 271-4171 FAX (011) 271-4181
URL <http://www.frpac.or.jp/> E-mail: ainu@frpac.or.jp

印刷 株式会社美巧製版